

## 第5章

### 地区別における調査結果

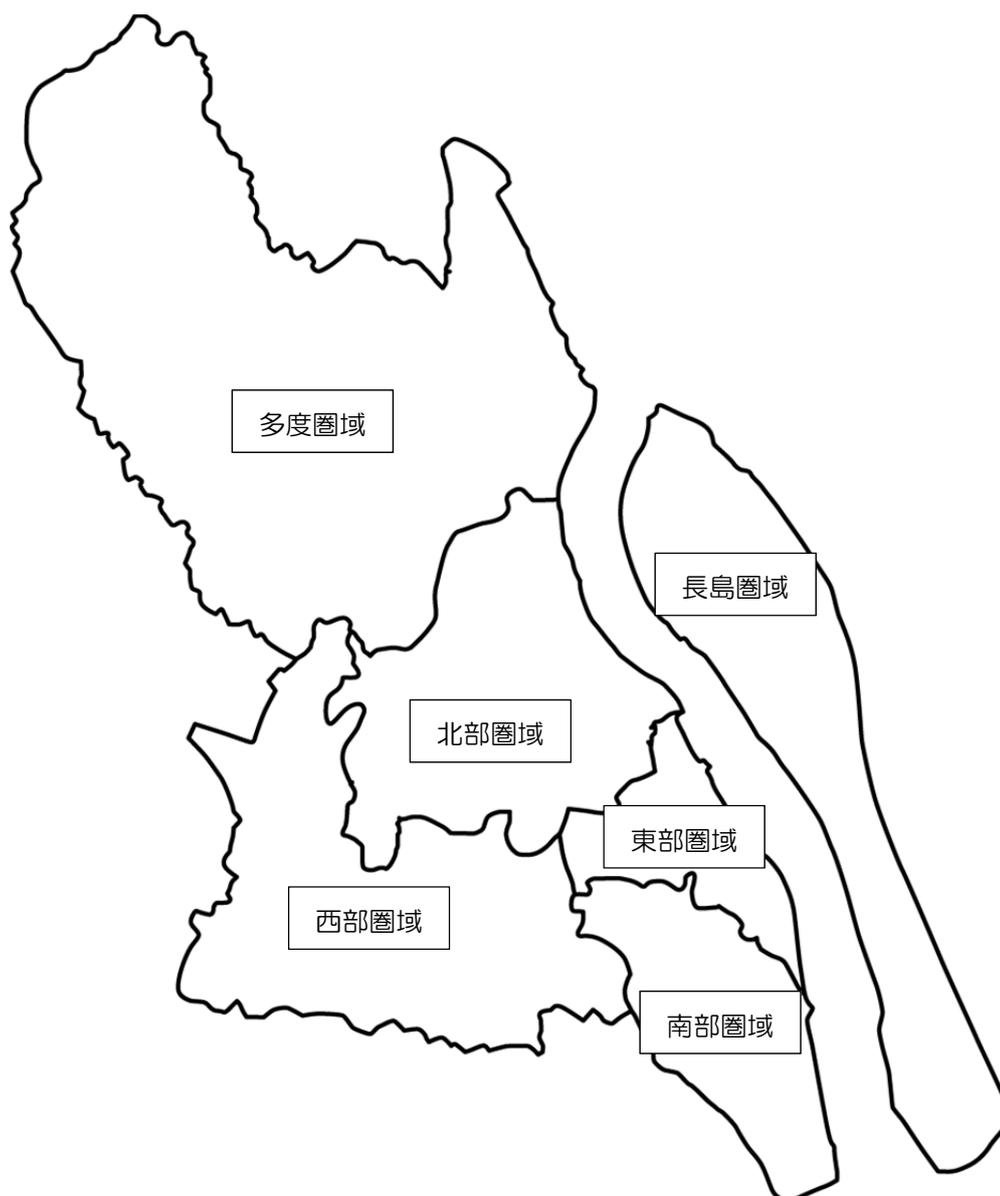


## 第5章 地区別における調査結果

地区分析にあたって、地域の特性を把握するために調査結果を記載した「地域カルテ」を地区別（小学校区別）に作成しました。「地域カルテ」では、市全域の平均値との比較から地域の強みや弱み（課題）等の分析を行いました。

また、日常生活圏域の分析は、地区を構成する各小学校区の「地域カルテ」の取りまとめを行い、圏域内の地域特性の把握に努めました。

■各圏域の位置図

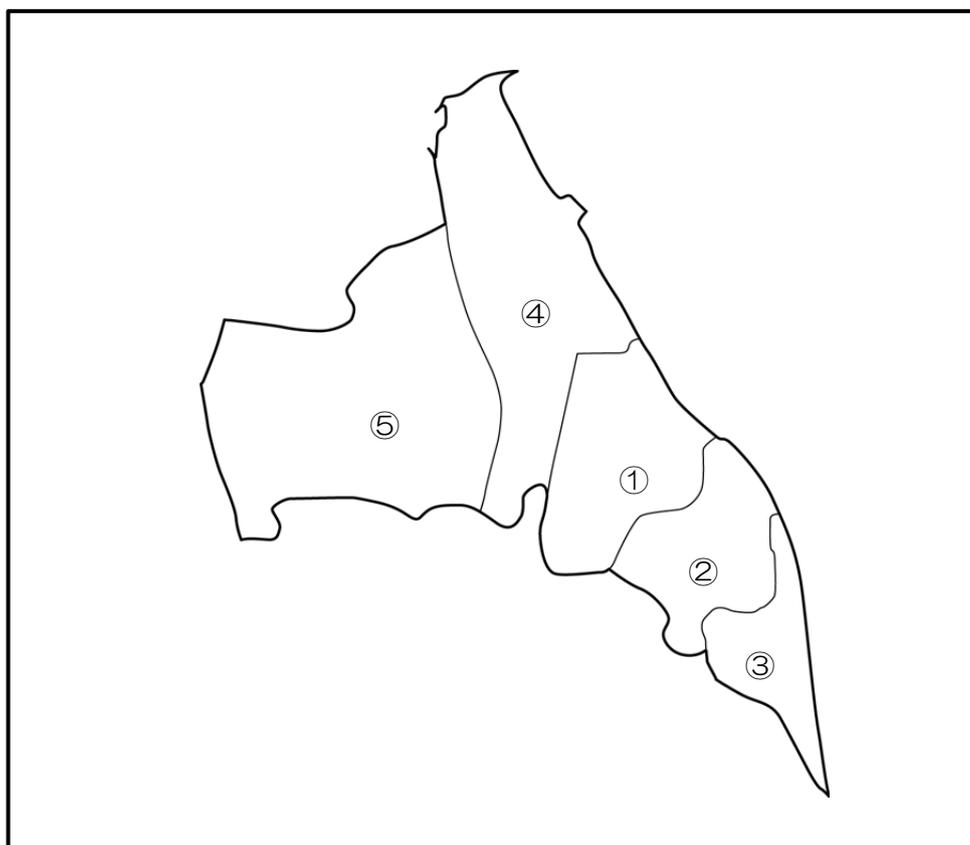


# I 「東部」日常生活圏域

## ■ 地域特性

- ①桑名駅などを含む中心市街地です。
- ②立教地区・城東地区は市街地のため高齢化率が高く、修得地区・大成地区は後開発地区のため高齢化率が低くなっています。
- ③社会参加・コミュニケーションの場が他の圏域より少ないため、精義地区では「知的能動性低下者」、立教地区・城東地区では「I ADL低下者」の割合が高くなっています。

■東部圏域内小学校区の位置図



No.	地区名	小学校名
①	精義地区	精義小学校
②	立教地区	立教小学校
③	城東地区	城東小学校
④	修徳地区	修徳小学校
⑤	大成地区	大成小学校

## ■ 地区分析の結果

- ①「東部」日常生活圏域は、精義地区・立教地区・城東地区・修徳地区・大成地区の5地区で構成されています。人口は25,236人、そのうち65歳以上の高齢者は7,004人となり、高齢化率は27.8%で市平均より2.0<sup>ポイント</sup>高い圏域です。
- ②本調査結果から判定された高齢者像をみると、「元気高齢者」(3.6%)、「一般高齢者」(25.5%)の割合はともに市平均より低く、「介護予防事業対象者」(61.4%)、「生活支援事業対象者」(47.3%)、「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」(20.3%)は市平均より高くなっています。特に「生活支援事業対象者」の割合は市内で1番高い状況です。
- ③リスク指標でみると、「物忘れリスク」「うつリスク」が4割台、「口腔機能低下リスク」が2割強となっており、該当割合は6リスクすべてで市平均より高くなっています。

指標等項目	数値	市全体	
		格差指数	順位
1 基礎データ			
人口	25,236人	—	3/6位
高齢者数	7,004人	—	3/6位
高齢化率	27.8%	2.0	4/6位
2 高齢者像構成(割合)			
元気高齢者	3.6%	-1.1	5
一般高齢者	25.5%	-1.2	4
介護予防事業対象者	61.4%	1.3	2
生活支援事業対象者	47.3%	3.6	1
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	20.3%	1.5	2
3 リスク指標の状況(割合)			
運動器機能低下リスク者	18.0%	2.8	1
低栄養リスク者	1.8%	0.4	2
口腔機能低下リスク者	21.6%	2.9	1
閉じこもりリスク者	17.1%	0.1	4
物忘れリスク者	45.5%	3.5	1
うつリスク者	40.1%	2.4	1
4 老研式活動能力指標の状況(割合)			
IADL低下者	9.8%	1.2	3
社会的役割低下者	16.5%	0.2	4
知的能動性低下者	34.3%	1.9	2

## (1) 地域カルテ「精義地区」

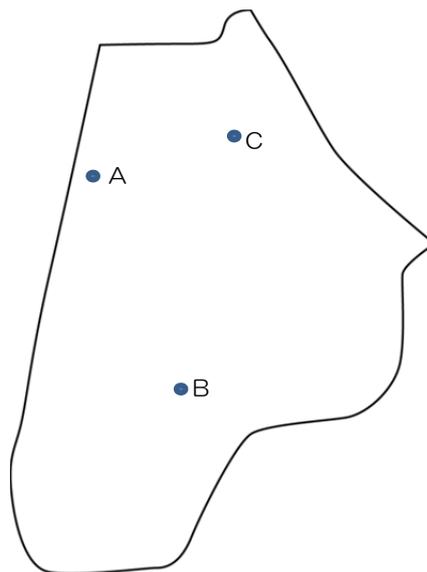
## ■ 地域課題

- ①人口は4,430人、そのうち65歳以上の高齢者は1,411人となり、高齢化率は31.9%で市平均より6.1ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は63.0%、「生活支援事業対象者」は48.6%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が47.8%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均よりも高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「老人クラブ」への参加をしている方の割合が市平均より低く、その他の活動は全て市平均より高くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方の割合が市平均より低くなっています。

「精義地区」:精義小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	4,430人	—	3/5位	—	14/19位
高齢者数	1,411人	—	2/5位	—	13/19位
高齢化率	31.9%	4.1	3/5位	6.1	7/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	3.6%	0.0	2	-1.0	13
一般高齢者	25.2%	-0.3	3	-1.5	13
介護予防事業対象者	63.0%	1.5	2	2.9	6
生活支援事業対象者	48.6%	1.3	3	4.8	3
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	18.8%	-1.5	5	0.0	14
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	17.0%	-1.0	4	1.8	8
低栄養リスク者	2.1%	0.3	3	0.6	6
口腔機能低下リスク者	19.5%	-2.1	5	0.8	11
閉じこもりリスク者	15.4%	-1.7	5	-1.6	17
物忘れリスク者	47.8%	2.3	2	5.8	3
うつリスク者	39.6%	-0.5	4	1.9	8
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	9.8%	0.0	3	1.2	7
社会的役割低下者	13.1%	-3.4	5	-3.2	18
知的能動性低下者	36.0%	1.7	1	3.6	2

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	7.2%	0.8	2	0.6	8
スポーツの会	19.3%	2.3	1	1.2	3
趣味の会	25.2%	4.1	1	2.7	4
学習・教養サークル	9.3%	1.3	2	1.7	4
老人クラブ	3.3%	0.2	4	-0.4	11
特技や経験を他者に伝える活動	5.9%	1.5	1	2.2	1
地域活動への参加意向	56.6%	1.9	2	-0.1	8
地域活動(企画・運営)への参加意向	33.7%	1.4	2	0.4	7
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	75.8%	0.4	3	-2.4	15
幸福感がある者の割合	47.0%	4.8	1	4.3	2
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	40.1%	4.6	2	3.8	4
「場づくり」ができていると思う割合	40.6%	8.3	1	3.7	5

■精義地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	精和クラブ	旧精義幼稚園	歌とマジック、音楽療法、講演、教室、健康相談、介護予防
B	このゆびと〜まれ	グランドメゾン桑名 壱番館	コーヒーとお菓子で雑談。折り紙や手芸、映画鑑賞、写真展
C	笑いヨガ	総合福祉会館	第1・3木曜はヨガ。
	東部太極拳		第2・4木曜は笑いヨガ 陽名時太極拳
	さんあい薬局	寺町商店街	健康相談・栄養相談・お薬相談・その他
	桑名病院		健康相談・栄養・その他

## (2) 地域カルテ「立教地区」

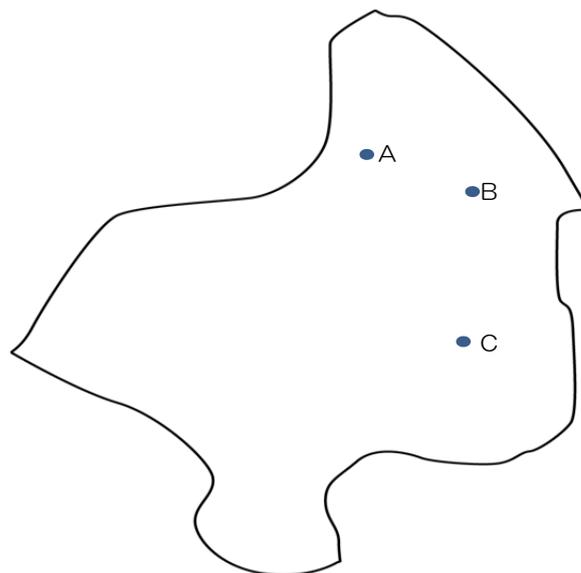
## ■ 地域課題

- ①人口は3,572人、そのうち65歳以上の高齢者は1,262人となり、高齢化率は35.3%で市平均より9.5ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は63.2%、「生活支援事業対象者」は45.7%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が47.2%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均よりも高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「趣味の会」以外の活動に参加していると回答した方の割合は市平均より低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方の割合が市内で2番目に低い地区です。

「立教地区」:立教小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	3,572人	—	4/5位	—	16/19位
高齢者数	1,262人	—	1/5位	—	15/19位
高齢化率	35.3%	7.5	1/5位	9.5	2/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	3.6%	0.0	3	-1.1	14
一般高齢者	22.3%	-3.2	5	-4.4	17
介護予防事業対象者	63.2%	1.8	1	3.1	5
生活支援事業対象者	45.7%	-1.6	5	1.9	9
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	22.6%	2.3	2	3.8	3
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	21.1%	3.1	2	5.9	2
低栄養リスク者	0.9%	-0.9	5	-0.6	16
口腔機能低下リスク者	24.3%	2.7	1	5.6	1
閉じこもりリスク者	18.7%	1.6	2	1.7	6
物忘れリスク者	47.2%	1.7	3	5.2	4
うつリスク者	40.4%	0.3	3	2.7	6
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	12.2%	2.4	2	3.6	2
社会的役割低下者	16.6%	0.1	3	0.3	11
知的能動性低下者	34.1%	-0.2	3	1.7	7

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	5.9%	-0.5	3	-0.7	12
スポーツの会	16.3%	-0.7	4	-1.8	10
趣味の会	23.1%	2.1	2	0.6	6
学習・教養サークル	6.2%	-1.7	4	-1.4	12
老人クラブ	3.6%	0.4	3	-0.2	8
特技や経験を他者に伝える活動	2.7%	-1.7	5	-1.1	17
地域活動への参加意向	53.4%	-1.3	3	-3.3	13
地域活動(企画・運営)への参加意向	35.9%	3.7	1	2.6	2
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	73.0%	-2.4	5	-5.3	18
幸福感がある者の割合	42.4%	0.2	3	-0.3	11
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	35.9%	0.4	3	-0.4	15
「場づくり」ができていると思う割合	30.0%	-2.4	3	-7.0	17

■立教地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	パソコン倶楽部	東部包括	パソコンの操作方法。エクセル・ワード・インターネットなどパソコンの知識向上
	パソコンマニア		インターネットを中心に知識向上
	唄クラブ		
	サロンうちぼり	森栄病院	どうぶつしょうぎ、ゴムバンド体操、太極拳、紙であそぼう
B	ラフタークラブ 2525	三之丸集会所	ラフターヨガ、笑いヨガ
	いこいの日		将棋、囲碁、折り紙、手芸、茶話会など
C	なかよし会(健康ケア)	DS いがまち	健康相談、運動、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防、その他

(3) 地域カルテ「城東地区」

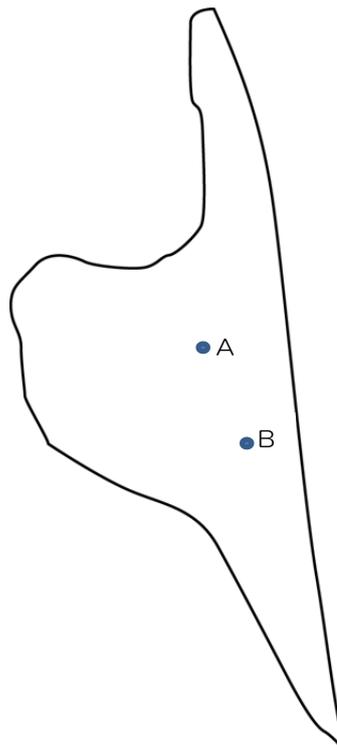
■ 地域課題

- ①人口は2,015人、そのうち65歳以上の高齢者は684人となり、高齢化率は33.9%で市平均より8.1ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は60.9%、「生活支援事業対象者」は49.5%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が50.5%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均よりも高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、すべての活動において参加している方の割合が市平均より低く、特に「スポーツの会」「学習・教養サークル」は市内で1番低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、幸福感がある方の割合が低くなっています。

「城東地区」:城東小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	2,015人	—	5/5位	—	19/19位
高齢者数	684人	—	2/5位	—	19/19位
高齢化率	33.9%	6.1	2/5位	8.1	4/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	3.1%	-0.4	5	-1.5	17
一般高齢者	24.0%	-1.5	4	-2.7	14
介護予防事業対象者	60.9%	-0.5	4	0.8	9
生活支援事業対象者	49.5%	2.2	1	5.7	1
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	22.9%	2.7	1	4.1	1
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	24.0%	6.0	1	8.8	1
低栄養リスク者	1.0%	-0.8	4	-0.4	15
口腔機能低下リスク者	21.4%	-0.3	3	2.6	4
閉じこもりリスク者	18.8%	1.7	1	1.7	5
物忘れリスク者	50.5%	5.0	1	8.5	1
うつリスク者	41.7%	1.6	1	4.0	2
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	15.1%	5.3	1	6.5	1
社会的役割低下者	22.4%	5.9	1	6.1	3
知的能動性低下者	31.3%	-3.1	5	-1.2	13

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	4.2%	-2.3	5	-2.4	17
スポーツの会	6.8%	-10.3	5	-11.3	19
趣味の会	16.1%	-4.9	5	-6.4	18
学習・教養サークル	4.2%	-3.8	5	-3.4	19
老人クラブ	3.6%	0.5	1	-0.1	6
特技や経験を他者に伝える活動	3.6%	-0.8	3	-0.1	7
地域活動への参加意向	49.5%	-5.2	5	-7.2	19
地域活動(企画・運営)への参加意向	26.6%	-5.7	5	-6.7	19
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	79.7%	4.2	1	1.4	5
幸福感がある者の割合	40.1%	-2.2	4	-2.6	15
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	41.7%	6.2	1	5.4	3
「場づくり」ができていると思う割合	40.1%	7.7	2	3.2	7

■城東地区 通いの場】



	名称	場所	内容
A	元ツター	東部包括支援センター	茶話会、体操 等
B	地藏元気クラブ	地藏集会所	桑名いきいき体操、茶話会 等

## (4) 地域カルテ「修徳地区」

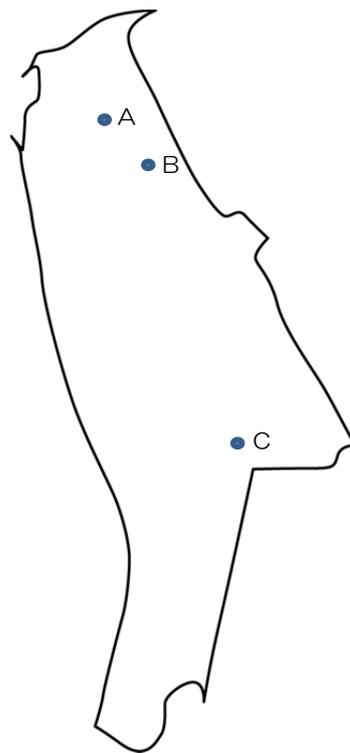
## ■ 地域課題

- ①人口は6,031人、そのうち65歳以上の高齢者は1,288人となり、高齢化率は21.4%で市平均より4.4ポイント低い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は56.5%、「生活支援事業対象者」は49.2%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が41.9%と6リスク中最も高いですが、圏域平均より3.6ポイント低く、市平均と同率になっています。
- ④社会関係指標でみると、すべての活動において参加している方の割合が市平均より低く、特に「老人クラブ」は市内で1番低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方の割合が市内で3番目に低い地区です。

「修徳地区」:修徳小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	6,031人	—	2/5位	—	10/19位
高齢者数	1,288人	—	5/5位	—	14/19位
高齢化率	21.4%	-6.4	5/5位	-4.4	18/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	3.3%	-0.2	4	-1.3	15
一般高齢者	30.1%	4.6	1	3.4	3
介護予防事業対象者	56.5%	-4.9	5	-3.6	17
生活支援事業対象者	49.2%	1.9	2	5.5	2
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.5%	-0.8	4	0.7	11
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	17.9%	-0.1	3	2.8	7
低栄養リスク者	2.1%	0.3	2	0.7	5
口腔機能低下リスク者	20.7%	-1.0	4	1.9	6
閉じこもりリスク者	16.4%	-0.7	4	-0.6	13
物忘れリスク者	41.9%	-3.6	5	0.0	11
うつリスク者	37.4%	-2.7	5	-0.3	11
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	9.1%	-0.6	4	0.5	12
社会的役割低下者	21.0%	4.5	2	4.6	4
知的能動性低下者	35.6%	1.2	2	3.2	3

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	5.8%	-0.6	4	-0.8	14
スポーツの会	16.7%	-0.3	3	-1.4	9
趣味の会	18.8%	-2.2	4	-3.7	15
学習・教養サークル	7.3%	-0.7	3	-0.3	10
老人クラブ	1.2%	-1.9	5	-2.6	19
特技や経験を他者に伝える活動	3.3%	-1.1	4	-0.4	11
地域活動への参加意向	52.0%	-2.7	4	-4.7	14
地域活動(企画・運営)への参加意向	30.4%	-1.9	4	-2.9	15
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	73.9%	-1.6	4	-4.4	17
幸福感がある者の割合	42.9%	0.6	2	0.1	8
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	28.3%	-7.2	5	-8.0	19
「場づくり」ができていると思う割合	26.7%	-5.6	5	-10.2	19

■修徳地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	夢かふえ	Dream station	レクリエーション、エステ、茶話会等
B	朋	福栄寺	レクリエーション・ヨガ・茶話会等
C	サロン諸戸	諸戸アイサン住宅	折り紙、いきいき体操、クラフト、書道、囲碁等

## (5) 地域カルテ「大成地区」

## ■ 地域課題

- ①人口は9,188人、そのうち65歳以上の高齢者は2,359人となり、高齢化率は25.7%で市平均より0.1<sup>ポイント</sup>低い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は62.2%、「生活支援事業対象者」は45.8%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が43.6%と6リスク中最も高く、圏域平均より1.9<sup>ポイント</sup>低く、市平均より1.6<sup>ポイント</sup>高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「趣味の会」「老人クラブ」の活動に参加している方の割合が市平均より低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、幸福感がある方の割合が市内で4番目に低い地区です。

「大成地区」:大成小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	9,188人	—	1/5位	—	3/19位
高齢者数	2,359人	—	4/5位	—	4/19位
高齢化率	25.7%	-2.1	4/5位	-0.1	15/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	3.8%	0.2	1	-0.9	12
一般高齢者	25.4%	-0.1	2	-1.3	11
介護予防事業対象者	62.2%	0.8	3	2.1	7
生活支援事業対象者	45.8%	-1.6	4	2.0	7
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.6%	-0.7	3	0.8	10
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	15.2%	-2.8	5	0.0	11
低栄養リスク者	2.2%	0.4	1	0.8	4
口腔機能低下リスク者	22.1%	0.5	2	3.4	3
閉じこもりリスク者	17.1%	0.0	3	0.1	12
物忘れリスク者	43.6%	-1.9	4	1.6	8
うつリスク者	41.1%	1.0	2	3.4	5
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	7.2%	-2.6	5	-1.4	17
社会的役割低下者	14.4%	-2.1	4	-1.9	16
知的能動性低下者	33.7%	-0.6	4	1.3	8

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	7.2%	0.8	1	0.6	6
スポーツの会	19.3%	2.2	2	1.2	4
趣味の会	20.1%	-1.0	3	-2.5	9
学習・教養サークル	9.6%	1.6	1	2.0	3
老人クラブ	3.6%	0.5	2	-0.2	7
特技や経験を他者に伝える活動	5.2%	0.8	2	1.4	2
地域活動への参加意向	57.2%	2.5	1	0.5	5
地域活動(企画・運営)への参加意向	32.1%	-0.1	3	-1.2	12
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	76.0%	0.6	2	-2.3	13
幸福感がある者の割合	39.7%	-2.6	5	-3.1	16
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	34.3%	-1.2	4	-2.0	16
「場づくり」ができていると思う割合	29.2%	-3.2	4	-7.8	18

■大成地区 通いの場



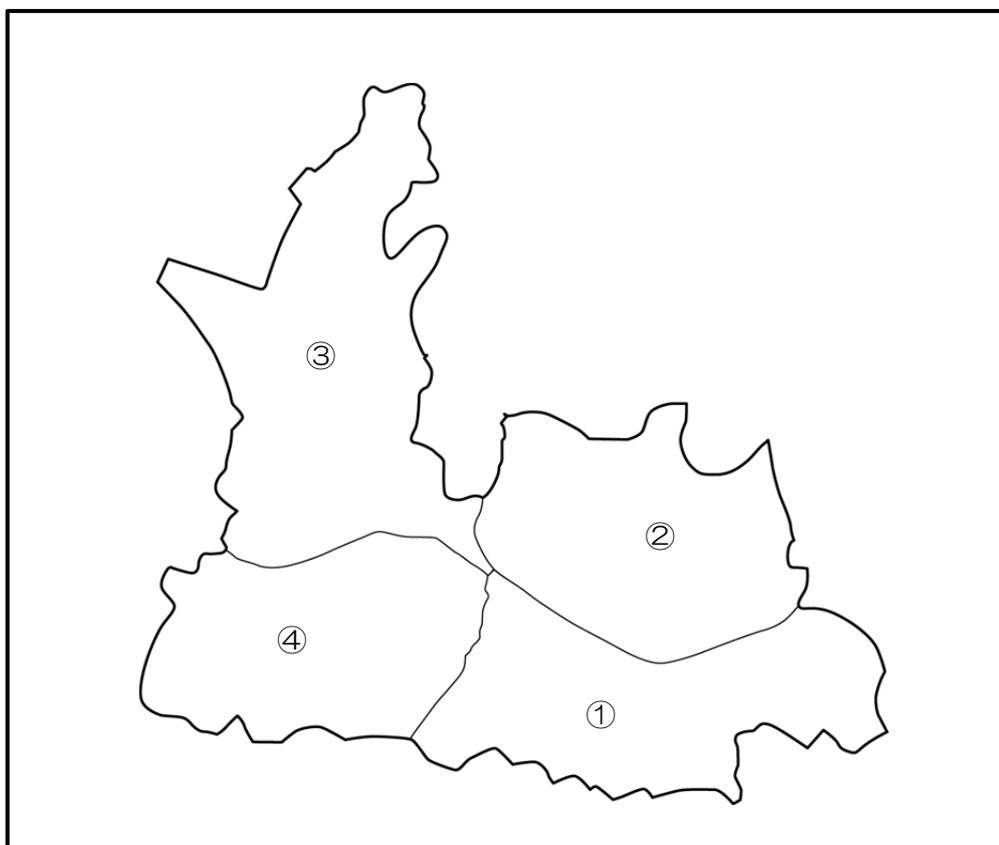
	名称	場所	内容
A	健康ケア教室 (ケアパーク和月)	ケアパーク和月	シニアヨガ・シニアエアロ
B	太極拳	北別所 健康公園	太極拳
	音楽療法・ レクリエーション		音楽療法・レクリエーション
	ラジオ体操の集い		ラジオ体操・あんきでござる体操
C	ラジオ体操の集い	青葉公園	ラジオ体操
D	門前の宿	民家	楽器演奏、音楽療法、健康の話し等
	ラジオ体操の集い	東方公園	ラジオ体操・あんきでござる体操

## II 「西部」日常生活圏域

### ■ 地域特性

- ①旧来の集落（桑部地区・在良地区）と開発住宅地（七和地区・久米地区）が混在しており、桑部地区・在良地区では高齢化率が比較的高く、七和地区・久米地区では低くなっています。
- ②七和地区では坂が多く、高齢者には外出しにくいいため、閉じこもりリスクの該当者が高くなっています。

■西部圏域内小学校区の位置図



No.	地区名	小学校名
①	桑部地区	桑部小学校
②	在良地区	在良小学校
③	七和地区	七和小学校
④	久米地区	久米小学校

## ■ 地区分析の結果

- ①「西部」日常生活圏域は、桑部地区・在良地区・七和地区・久米地区の4地区で構成されています。人口は26,998人、そのうち65歳以上の高齢者は7,649人となり、高齢化率は28.3%で市平均より2.5<sup>ポイント</sup>高い圏域です。
- ②本調査結果から判定された高齢者像をみると、「元気高齢者」(5.3%)、「一般高齢者」(28.7%)、「生活支援事業対象者」(43.9%)の割合はともに市平均より高く、「介護予防事業対象者」(57.7%)、「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」(18.5%)は市平均より低くなっています。特に「介護予防事業対象者」の割合は市内で1番低い状況です。
- ③リスク指標でみると、「物忘れリスク」「うつリスク」が3割台、「口腔機能低下リスク」「閉じこもりリスク」が2割弱となっており、「閉じこもりリスク」のみ市平均より高くなっています。

指標等項目	数値	市全体	
		格差指数	順位
1 基礎データ			
人口	26,998人	—	2/6位
高齢者数	7,649人	—	2/6位
高齢化率	28.3%	2.5	3/6位
2 高齢者像構成(割合)			
元気高齢者	5.3%	0.7	2
一般高齢者	28.7%	2.1	1
介護予防事業対象者	57.7%	-2.4	6
生活支援事業対象者	43.9%	0.1	3
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	18.5%	-0.3	5
3 リスク指標の状況(割合)			
運動器機能低下リスク者	14.0%	-1.1	5
低栄養リスク者	1.2%	-0.3	4
口腔機能低下リスク者	18.0%	-0.8	4
閉じこもりリスク者	17.6%	0.6	3
物忘れリスク者	38.5%	-3.5	6
うつリスク者	34.3%	-3.4	6
4 老研式活動能力指標の状況(割合)			
IADL低下者	7.5%	-1.1	5
社会的役割低下者	15.4%	-0.9	5
知的能動性低下者	31.6%	-0.8	4

(1) 地域カルテ「桑部地区」

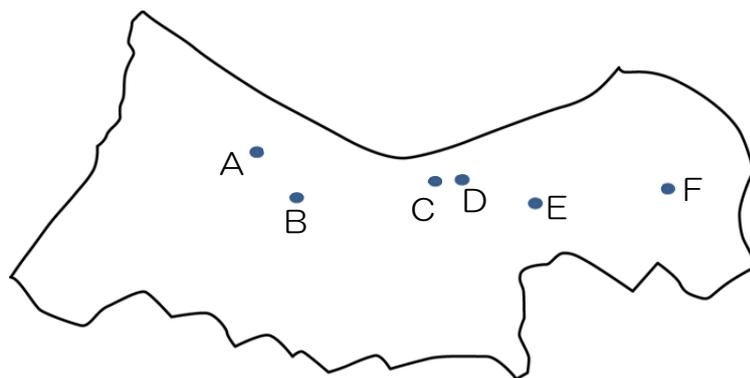
■ 地域課題

- ①人口は5,052人、そのうち65歳以上の高齢者は1,524人となり、高齢化率は30.2%で市平均より4.4<sup>ポイント</sup>高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は59.9%、「生活支援事業対象者」は44.8%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が41.0%と6リスク中最も高く、圏域平均より2.5<sup>ポイント</sup>高く、市平均より1.0<sup>ポイント</sup>低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「スポーツの会」以外の活動に参加している方の割合が市平均より低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、幸福感がある方の割合が低くなっています。

「桑部地区」:桑部小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	5,052人	—	4/4位	—	12/19位
高齢者数	1,524人	—	4/4位	—	12/19位
高齢化率	30.2%	1.9	2/4位	4.4	8/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	4.0%	-1.3	4	-0.7	11
一般高齢者	28.6%	-0.1	2	2.0	6
介護予防事業対象者	59.9%	2.1	1	-0.2	11
生活支援事業対象者	44.8%	0.9	2	1.0	10
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	20.6%	2.1	1	1.8	7
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	15.5%	1.5	1	0.4	10
低栄養リスク者	1.8%	0.6	1	0.3	8
口腔機能低下リスク者	18.2%	0.2	2	-0.6	12
閉じこもりリスク者	16.0%	-1.6	4	-1.0	16
物忘れリスク者	41.0%	2.5	1	-1.0	12
うつリスク者	35.9%	1.6	2	-1.7	15
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	7.5%	0.0	3	-1.0	16
社会的役割低下者	17.1%	1.7	1	0.7	10
知的能動性低下者	34.6%	3.0	1	2.2	6

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者合					
ボランティアのグループ	5.8%	-0.8	3	-0.8	15
スポーツの会	19.1%	0.7	2	1.0	5
趣味の会	21.7%	-1.2	2	-0.8	7
学習・教養サークル	7.3%	0.4	2	-0.3	9
老人クラブ	2.7%	-1.2	3	-1.1	12
特技や経験を他者に伝える活動	3.5%	-0.2	2	-0.2	8
地域活動への参加意向	57.9%	0.9	1	1.2	4
地域活動(企画・運営)への参加意向	32.8%	-0.5	3	-0.5	10
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	78.5%	-1.8	3	0.2	6
幸福感がある者の割合	40.8%	-3.3	4	-1.9	14
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	36.1%	-2.0	4	-0.2	13
「場づくり」ができていると思う割合	37.3%	0.0	3	0.3	10

■桑部地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	能部通いの場	能部公民館	地域住民の交流と健康増進
B	囲碁・将棋同好会	正和台集会所	囲碁・将棋
	正和台集会所 通いの場		地域住民の交流と健康増進
C	桑部地区宅老所 桑の実	旧駐在所	介護予防教室、音楽療法、みんなで歌う童謡、マジック講座、世代間交流、邦楽鑑賞会、朗読会、健康相談(保健師)
D	桑和会 健康クラブ	桑部まちづくり拠点施設	桑名いきいき体操
E	健康・ケア教室 いきいきサロン	やすらぎデイサービス	介護予防教室、音楽療法、みんなで歌う童謡、マジック講座、世代間交流、邦楽鑑賞会、朗読会、健康相談(保健師)
F	かざみどり	デイサービス いこい	健康体操や作り物など

## (2) 地域カルテ「在良地区」

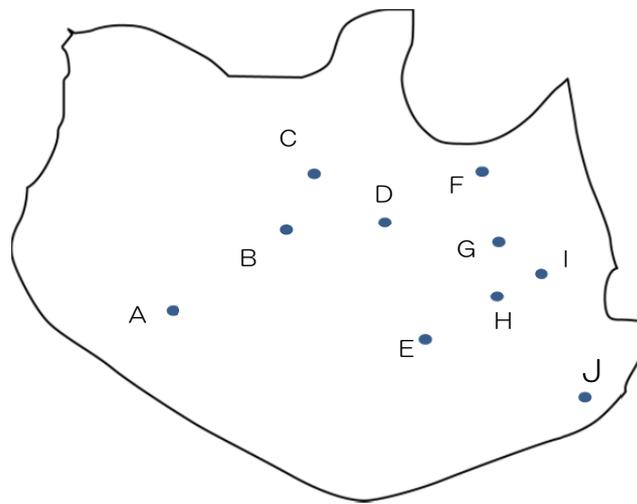
## ■ 地域課題

- ①人口は8,275人、そのうち65歳以上の高齢者は2,744人となり、高齢化率は33.2%で市平均より7.4ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は55.1%、「生活支援事業対象者」は43.0%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が38.7%と6リスク中最も高く、圏域平均より0.2ポイント高く、市平均より3.2ポイント低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「老人クラブ」の活動に参加している方の割合が市平均より低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方・幸福感がある方の割合が市内で3番目に高い地区です。

「在良地区」:在良小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	8,275人	—	1/4位	—	6/19位
高齢者数	2,744人	—	1/4位	—	3/19位
高齢化率	33.2%	5.8	1/4位	7.4	5/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	5.0%	-0.3	3	5.9	6
一般高齢者	31.0%	2.3	1	25.5	1
介護予防事業対象者	55.1%	-2.7	4	58.0	18
生活支援事業対象者	43.0%	-0.9	3	46.7	11
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	17.8%	-0.7	3	19.8	16
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	14.7%	0.6	2	-0.5	15
低栄養リスク者	0.8%	-0.4	4	-0.7	18
口腔機能低下リスク者	17.1%	-0.8	3	-1.6	16
閉じこもりリスク者	17.8%	0.2	2	0.8	9
物忘れリスク者	38.7%	0.2	2	-3.2	17
うつリスク者	32.6%	-1.7	4	-5.1	19
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	8.9%	1.4	1	0.3	13
社会的役割低下者	14.2%	-1.2	4	-2.2	17
知的能動性低下者	30.0%	-1.6	3	-2.4	18
5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	8.1%	1.6	1	1.5	1
スポーツの会	19.4%	1.1	1	1.3	2
趣味の会	27.7%	4.7	1	5.2	2

学習・教養サークル	8.0%	1.1	1	0.4	7
老人クラブ	3.5%	-0.4	2	-0.3	9
特技や経験を他者に伝える活動	5.0%	1.2	1	1.3	3
地域活動への参加意向	57.1%	0.2	2	0.5	6
地域活動(企画・運営)への参加意向	32.4%	-0.9	4	-0.9	11
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	81.5%	1.2	2	3.2	3
幸福感がある者の割合	45.7%	1.6	2	3.0	3
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	36.6%	-1.5	3	0.2	12
「場づくり」ができていると思う割合	39.0%	1.7	2	2.0	9

■在良地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	額田なかよしクラブ	額田神社参集殿	茶話会
	額田いきいきサロン		くわないいきいき体操
B	桑名福祉センター 健康・ケア教室	桑名福祉センター	健康相談、いきいきコンサート、おしゃべり喫茶、体操、笑いヨガ等
C	蓮住趣味の会	蓮花寺住宅集会所	手芸や和菓子作り
D	サロン蓮花寺	泊山会館	健康体操、茶話会
E	さくら(宅老所)	旧駐在所	音楽療法、地域包括の話、マジックと話芸、ハーモニカ、ギター演奏、お話宅急便、手芸、血圧測定、健康相談
F	希望ヶ丘 生き生きサロン	希望ヶ丘センター	健康体操等
G	サロン西別所	八幡社	いきいき体操
H	サロンなごみ	フィールドストーン 集会所	健康体操、茶話会
I	歌おう会	照林寺	唱歌、仏教賛歌、茶話会、ヨガ
J	稗田シルバーサロン	薬師堂	桑名いきいき体操、吹き矢など

(3) 地域カルテ「七和地区」

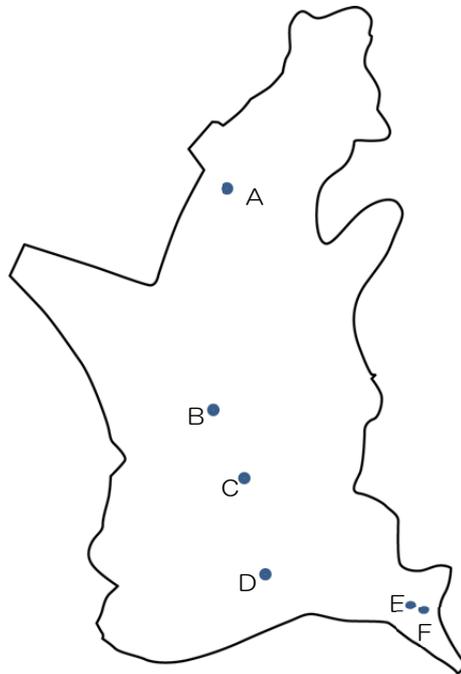
■ 地域課題

- ①人口は6,890人、そのうち65歳以上の高齢者は1,841人となり、高齢化率は26.7%で市平均より0.9ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は58.0%、「生活支援事業対象者」は46.7%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が37.1%と6リスク中最も高くなっていますが、圏域平均・市平均より低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、全ての活動において参加している方の割合が市平均より低く、特に「ボランティアのグループ」「特技や経験を他社に伝える活動」は市内で2番目に低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方・幸福感がある方の割合がともに市平均より低くなっています。

「七和地区」:七和小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	6,890人	—	3/4位	—	8/19位
高齢者数	1,841人	—	2/4位	—	8/19位
高齢化率	26.7%	-2.4	3/4位	0.9	14/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	5.9%	0.6	2	1.2	4
一般高齢者	25.5%	-3.2	4	-1.2	10
介護予防事業対象者	58.0%	0.3	3	-2.1	14
生活支援事業対象者	46.7%	2.8	1	2.9	5
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.8%	1.3	2	1.0	9
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	14.5%	0.5	3	-0.7	16
低栄養リスク者	1.4%	0.2	2	-0.1	11
口腔機能低下リスク者	20.8%	2.8	1	2.0	5
閉じこもりリスク者	18.8%	1.2	1	1.8	4
物忘れリスク者	37.1%	-1.5	4	-4.9	19
うつリスク者	36.5%	2.2	1	-1.2	14
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	7.8%	0.4	2	-0.7	15
社会的役割低下者	15.9%	0.5	2	-0.5	13
知的能動性低下者	33.3%	1.7	2	0.9	9
5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	4.1%	-2.4	4	-2.5	18

スポーツの会	16.1%	-2.2	4	-2.0	11
趣味の会	19.8%	-3.2	3	-2.7	10
学習・教養サークル	5.9%	-1.0	3	-1.7	14
老人クラブ	2.4%	-1.5	4	-1.4	16
特技や経験を他者に伝える活動	2.5%	-1.2	4	-1.2	18
地域活動への参加意向	55.9%	-1.1	4	-0.8	10
地域活動(企画・運営)への参加意向	33.7%	0.4	2	0.4	6
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	77.6%	-2.6	4	-0.6	10
幸福感がある者の割合	41.8%	-2.4	3	-1.0	13
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	38.2%	0.1	2	1.9	6
「場づくり」ができていると思う割合	31.4%	-5.9	4	-5.6	16

■七和地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	和みの会	嘉例川集会所	茶話会・体操等
B	七和のつどい	七和まちづくり 拠点施設	桑名いきいき体操等
C	サロン睦美	睦美ヶ丘集会所	茶話会、手芸等
D	あかりの森	森忠集会所	茶話会、健康体操、外部講師等
E	坂井橋クリニック 健康ケア教室	坂井橋クリニック	健康相談、運動、口腔、栄養、認知、 その他
F	フラワー薬局 健康ケア教室	フラワー薬局	健康相談・お薬相談等

## (4) 地域カルテ「久米地区」

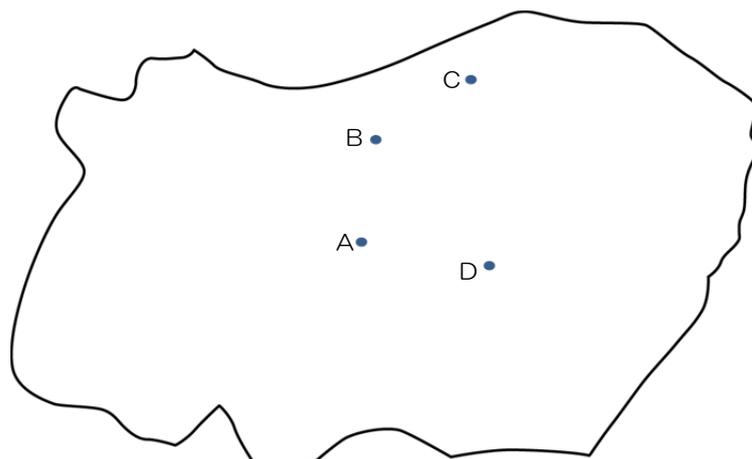
## ■ 地域課題

- ①人口は6,781人、そのうち65歳以上の高齢者は1,540人となり、高齢化率は22.7%で市平均より3.1ポイント低い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は59.9%、「生活支援事業対象者」は41.2%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が37.3%と6リスク中最も高くなっていますが、圏域平均・市平均より低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「学習・教養サークル」に参加している方の割合が低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方・幸福感がある方の割合がともに市内で1番目となっています。

「久米地区」:久米小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	6,781人	—	4/4位	—	9/19位
高齢者数	1,540人	—	3/4位	—	11/19位
高齢化率	22.7%	-1.3	4/4位	-3.1	17/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	6.4%	1.1	1	1.8	2
一般高齢者	28.6%	-0.1	2	2.0	6
介護予防事業対象者	59.9%	2.1	1	-0.2	11
生活支援事業対象者	41.2%	-2.6	4	-2.5	16
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	16.2%	-2.3	4	-2.6	18
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	10.9%	-3.2	4	-4.3	18
低栄養リスク者	1.1%	-0.1	3	-0.3	12
口腔機能低下リスク者	16.0%	-2.0	4	-2.8	18
閉じこもりリスク者	17.5%	-0.1	3	0.5	10
物忘れリスク者	37.3%	-1.3	3	-4.7	18
うつリスク者	33.3%	-1.0	3	-4.4	17
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	4.7%	-2.8	4	-3.9	19
社会的役割低下者	15.3%	-0.1	3	-1.0	15
知的能動性低下者	29.5%	-2.1	4	-2.9	19

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	7.3%	0.8	2	0.7	4
スポーツの会	18.2%	-0.1	3	0.1	6
趣味の会	19.7%	-3.2	4	-2.8	11
学習・教養サークル	5.8%	-1.1	4	-1.8	15
老人クラブ	7.5%	3.7	1	3.8	3
特技や経験を他者に伝える活動	3.3%	-0.5	3	-0.4	12
地域活動への参加意向	57.0%	0.0	3	0.3	7
地域活動(企画・運営)への参加意向	34.8%	1.5	1	1.5	4
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	82.9%	2.7	1	4.7	1
幸福感がある者の割合	47.5%	3.3	1	4.7	1
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	42.6%	4.5	1	6.3	2
「場づくり」ができていると思う割合	41.0%	3.7	1	4.1	4

■久米地区 通いの場



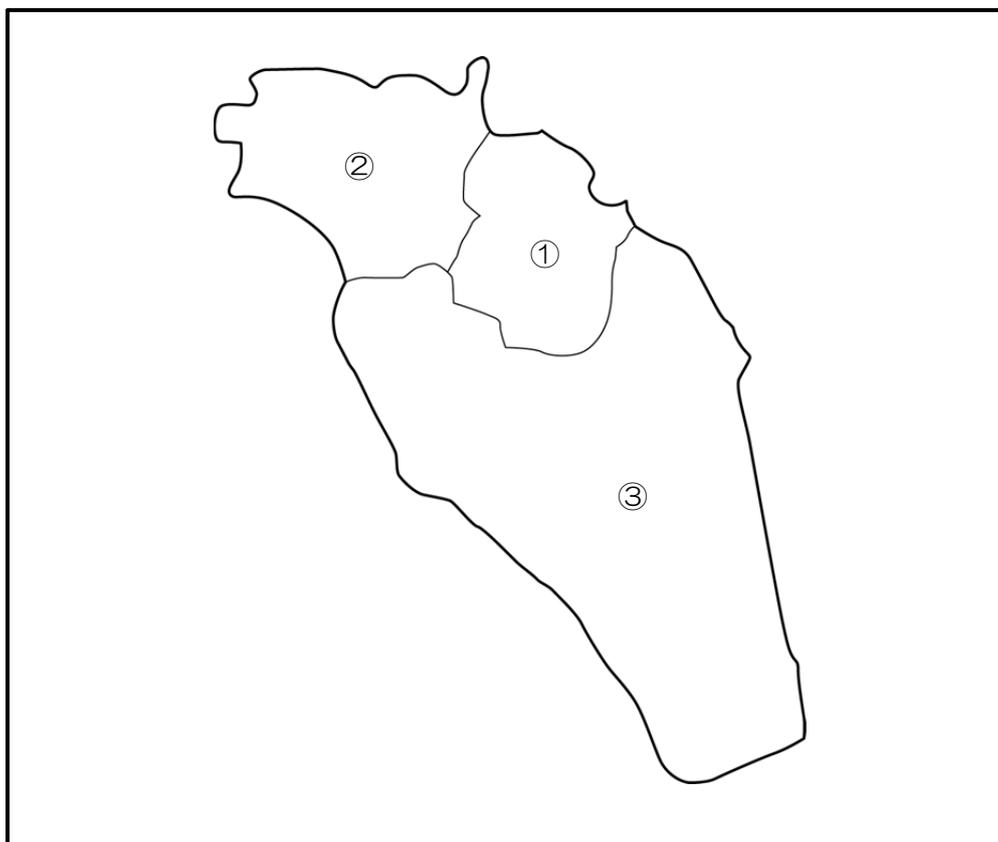
	名称	場所	内容
A	久米地区宅老所 げんき	学童げんき横	介護予防教室、音楽療法、健康体操等
B	シルバーサロン友	グリーンハウス友	昼食会と簡単なレクリエーション
C	坂井 結いの会	坂井集会所	茶話会など
D	茶の華会	赤尾台集会所	いきいき体操

### III 「南部」日常生活圏域

#### ■ 地域特性

- ①日進地区は市役所などを含む中心市街地のため南部生活圏域内では比較的高齢化率が高くなっています。
- ②城南地区は農業・漁業従事者が多く、地域のつながりが比較的強く待っています。そのため地域活動への参加意向が高くなっています。

■南部圏域内小学校区の位置図



No.	地区名	小学校名
①	日進地区	日進小学校
②	益世地区	益世小学校
③	城南地区	城南小学校

## ■ 地区分析の結果

- ①「南部」日常生活圏域は、日進地区・益世地区・城南地区の3地区で構成されています。人口は22,358人、そのうち65歳以上の高齢者は5,971人となり、高齢化率は26.7%で市平均より0.9ポイント高い圏域です。
- ②本調査結果から判定された高齢者像をみると、「元気高齢者」(3.5%)の割合は市平均より低く、「一般高齢者」(26.8%)、「介護予防事業対象者」(60.1%)、「生活支援事業対象者」(44.4%)、「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」(19.7%)は市同等か市平均よりわずかに高くなっています。
- ③リスク指標でみると、「物忘れリスク」が4割台、「うつリスク」が3割台、「口腔機能低下リスク」「閉じこもりリスク」が2割弱となっており、「閉じこもりリスク」のみ市平均より高くなっています。

指標等項目	数値	市全体	
		格差指数	順位
1 基礎データ			
人口	22,358人	—	4/6位
高齢者数	5,971人	—	4/6位
高齢化率	26.7%	0.9	5/6位
2 高齢者像構成(割合)			
元気高齢者	3.5%	-1.2	6
一般高齢者	26.8%	0.2	3
介護予防事業対象者	60.1%	0.0	3
生活支援事業対象者	44.4%	0.6	2
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.7%	1.0	3
3 リスク指標の状況(割合)			
運動器機能低下リスク者	17.8%	2.7	2
低栄養リスク者	1.9%	0.5	5
口腔機能低下リスク者	19.8%	1.1	2
閉じこもりリスク者	17.0%	0.0	5
物忘れリスク者	42.5%	0.5	3
うつリスク者	39.1%	1.4	3
4 老研式活動能力指標の状況(割合)			
IADL低下者	10.0%	1.4	1
社会的役割低下者	18.7%	2.3	3
知的能動性低下者	34.5%	2.1	1

## (1) 地域カルテ「日進地区」

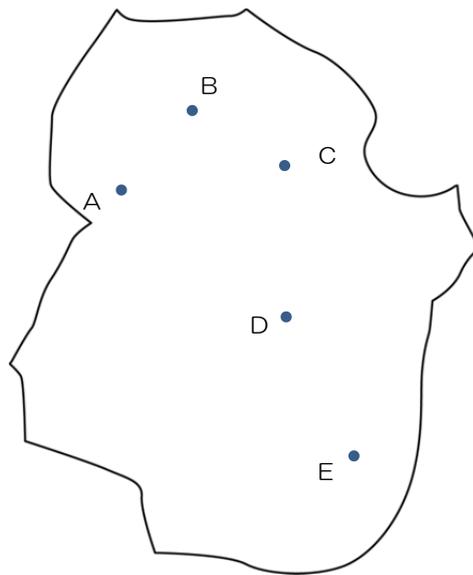
## ■ 地域課題

- ①人口は5,965人、そのうち65歳以上の高齢者は1,634人となり、高齢化率は27.4%で市平均より1.6ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は64.1%、「生活支援事業対象者」は45.7%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が45.0%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均よりも高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「スポーツの会」に参加している方の割合が低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、幸福感がある方の割合が市内で3番目に低い地区です。

「日進地区」:日進小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	5,965人	—	3/3位	—	11/19位
高齢者数	1,634人	—	3/3位	—	9/19位
高齢化率	27.4%	-0.7	2/3位	1.6	12/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	2.7%	-0.8	3	-2.0	19
一般高齢者	23.7%	-3.1	3	-2.9	15
介護予防事業対象者	64.1%	4.0	1	4.0	3
生活支援事業対象者	45.7%	1.3	2	2.0	8
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	21.5%	1.8	1	2.7	6
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	19.3%	1.5	2	4.1	4
低栄養リスク者	1.5%	-0.4	3	0.0	10
口腔機能低下リスク者	19.8%	0.0	2	1.1	9
閉じこもりリスク者	17.1%	0.1	2	0.1	11
物忘れリスク者	45.0%	2.5	1	3.0	7
うつリスク者	44.3%	5.2	1	6.6	1
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	11.2%	1.3	1	2.7	3
社会的役割低下者	20.8%	2.1	1	4.4	5
知的能動性低下者合	36.2%	1.7	1	3.8	1

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	5.1%	-0.7	3	-1.5	16
スポーツの会	15.9%	-0.2	2	-2.2	12
趣味の会	23.2%	0.3	2	0.7	5
学習・教養サークル	10.8%	2.6	1	3.2	1
老人クラブ	3.4%	1.0	1	-0.4	10
特技や経験を他者に伝える活動	3.4%	-0.2	2	-0.3	10
地域活動への参加意向	51.6%	-2.4	2	-5.1	15
地域活動(企画・運営)への参加意向	30.8%	-1.0	2	-2.5	14
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	77.8%	0.4	2	-0.5	9
幸福感がある者の割合	37.7%	-4.6	3	-5.1	17
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	35.9%	0.5	2	-0.4	14
「場づくり」ができていると思う割合	35.5%	-1.6	3	-1.5	13

■日進地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	サロン&はる	東相川町	
	はるかふえ		
B	憩いの場ともしび	桑名エピファニー教会	
C	桑名いきいき体操の会	法盛寺	
D	梅の郷	江場 252	
E	みんなの体操梅の会	日進まちづくり拠点施設	

(2) 地域カルテ「益世地区」

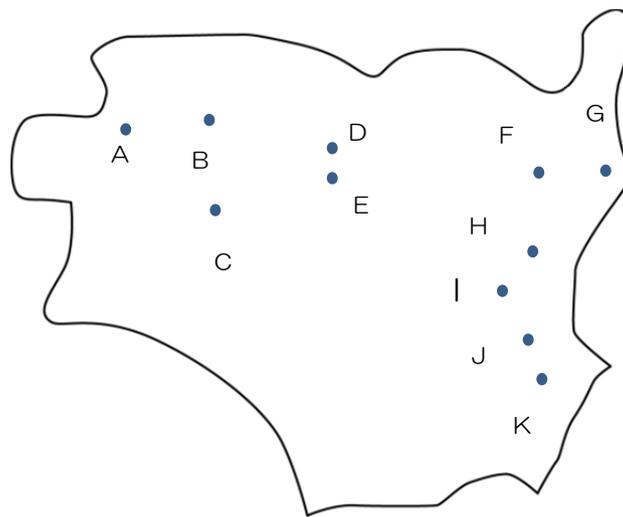
■ 地域課題

- ①人口は7,743人、そのうち65歳以上の高齢者は2,257人となり、高齢化率は29.1%で市平均より3.3ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は57.0%、「生活支援事業対象者」は46.3%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が42.3%と6リスク中最も高く、圏域平均より0.2ポイント高く、市平均より0.3ポイント低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「老人クラブ」に参加している方の割合が市内で2番目に低い地区です。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方の割合が市平均より低くなっています。

「益世地区」:益世小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	7,743人	—	1/3位	—	7/19位
高齢者数	2,257人	—	1/3位	—	6/19位
高齢化率	29.1%	4.9	1/3位	3.3	9/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	3.3%	-0.2	2	-1.3	16
一般高齢者	29.7%	2.9	1	3.0	4
介護予防事業対象者	57.0%	-3.0	3	-3.1	16
生活支援事業対象者	46.3%	1.9	1	2.5	6
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.1%	-0.7	3	0.3	13
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	19.7%	1.9	1	4.6	3
低栄養リスク者	1.5%	-0.4	2	0.1	9
口腔機能低下リスク者	19.7%	-0.1	3	1.0	10
閉じこもりリスク者	15.4%	-1.6	3	-1.6	18
物忘れリスク者	42.3%	-0.2	2	0.3	10
うつリスク者	37.6%	-1.4	2	0.0	10
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	9.6%	-0.3	2	1.0	9
社会的役割低下者	15.6%	-3.1	3	-0.7	14
知的能動性低下者	34.8%	0.3	2	2.4	5
5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	6.3%	0.4	1	-0.3	11
スポーツの会	16.9%	0.8	1	-1.2	8
趣味の会	26.9%	4.0	1	4.3	3

学習・教養サークル	9.0%	0.8	2	1.4	6
老人クラブ	1.7%	-0.8	3	-2.1	18
特技や経験を他者に伝える活動	4.1%	0.6	1	0.4	6
地域活動への参加意向	51.4%	-2.6	3	-5.3	16
地域活動(企画・運営)への参加意向	29.2%	-2.6	3	-4.1	17
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	76.0%	-1.3	3	-2.3	14
幸福感がある者の割合	45.4%	3.2	1	2.7	4
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	39.3%	3.9	1	3.0	5
「場づくり」ができていると思う割合	39.3%	2.2	1	2.4	8

■益世地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	さんさん移動宅老所	上野神社	
B	霞公園ラジオ体操会	霞公園	ラジオ体操
C	お稲荷さん ラジオ体操の会	玉三稲荷神社	
	さんさん移動宅老所		
D	いっぽいっぽの会	日立研修センター	
E	さんさん移動宅老所	走井山会館	
F	小野山防災茶話会	益世まちづくり拠点施設	
G	さんさん宅老所	立坂神社	
H	さんさん	旧益世幼稚園	
	益々元気体操の会		
	おうちごはんの会	益世小学校	
I	きいろいおうちカフェ	新地	
J	さんさん移動宅老所	大福自治会館	
K	クオ健康クラブ	介護予防ジムクオ	

(3) 地域カルテ「城南地区」

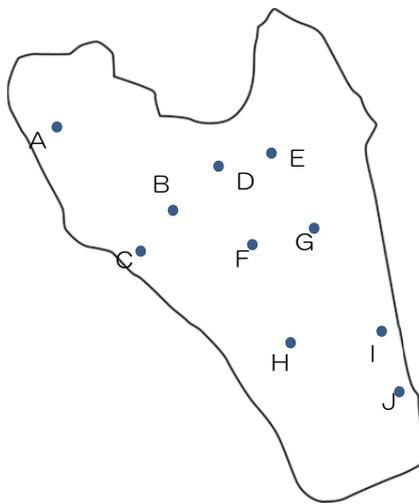
■ 地域課題

- ①人口は8,650人、そのうち65歳以上の高齢者は2,080人となり、高齢化率は24.0%で市平均より1.8ポイント低い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は60.5%、「生活支援事業対象者」は41.5%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が40.9%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、すべての活動に参加している方の割合が市平均より低く、特に「趣味の会」「学習・教養グループ」に参加している方の割合が低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、幸福感がある方の割合が市平均より低くなっています。

「城南地区」:城南小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	8,650人	—	3/3位	—	4/19位
高齢者数	2,080人	—	2/3位	—	7/19位
高齢化率	24.0%	9.1	3/3位	-1.8	16/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	4.2%	0.7	1	-0.5	10
一般高齢者	26.0%	-0.8	2	-0.7	9
介護予防事業対象者	60.5%	0.4	2	0.3	10
生活支援事業対象者	41.5%	-2.9	3	-2.3	15
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.2%	-0.6	2	0.4	12
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	14.8%	-3.0	3	-0.4	14
低栄養リスク者	2.6%	0.7	1	1.2	1
口腔機能低下リスク者	19.9%	0.1	1	1.1	8
閉じこもりリスク者	18.6%	1.6	1	1.6	7
物忘れリスク者	40.9%	-1.6	3	-1.0	13
うつリスク者	36.9%	-2.2	3	-0.7	12
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	9.4%	-0.6	3	0.8	10
社会的役割低下者	20.4%	1.7	2	4.0	6
知的能動性低下者	32.9%	-1.6	3	0.5	10
5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	5.9%	0.1	2	-0.7	13
スポーツの会	15.5%	-0.6	3	-2.6	13
趣味の会	18.5%	-4.4	3	-4.1	16
学習・教養サークル	5.6%	-2.6	3	-2.0	16

老人クラブ	2.6%	0.2	2	-1.2	14
特技や経験を他者に伝える活動	3.1%	-0.5	3	-0.6	13
地域活動への参加意向	58.5%	4.5	1	1.9	2
地域活動(企画・運営)への参加意向	35.2%	3.4	1	1.9	3
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	78.4%	1.1	1	0.1	7
幸福感がある者の割合	42.2%	-0.1	2	-0.6	12
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	31.0%	-4.4	3	-5.3	18
「場づくり」ができていると思う割合	35.9%	-1.2	2	-1.1	12

■城南地区 通いの場



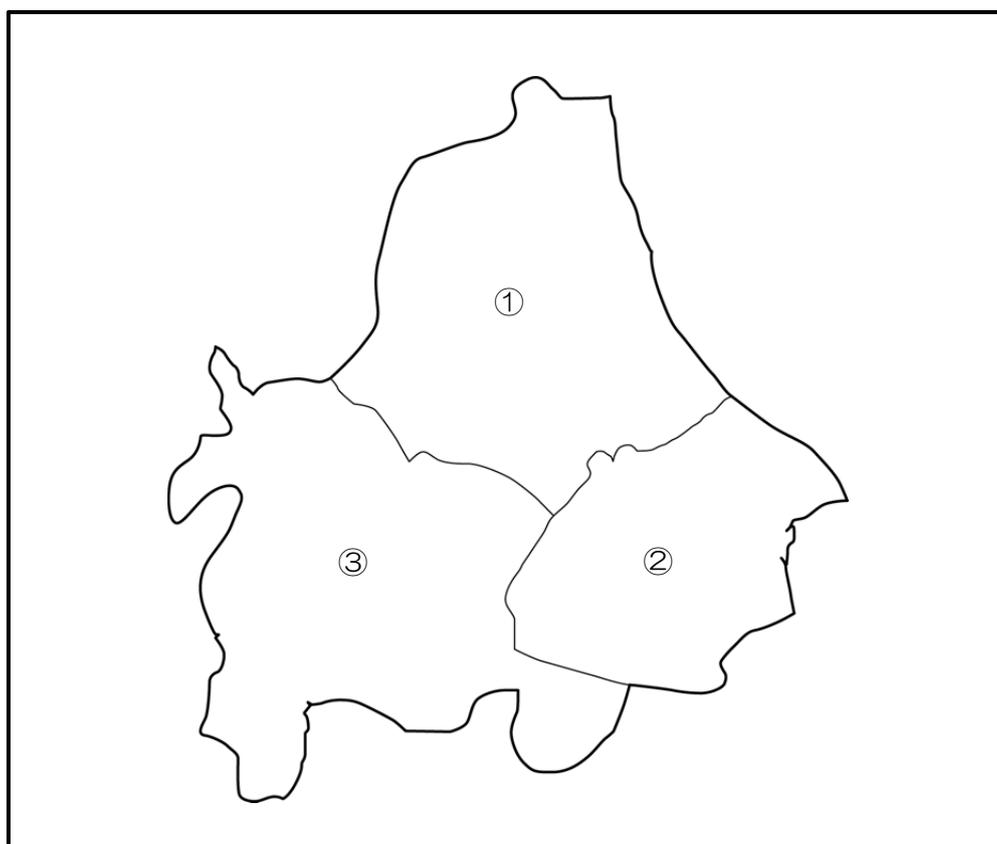
	名称	場所	内容
A	安永ふれあいカフェ	安永文化会館	
B	よはな健康倶楽部	ヨハナ病院	
C	サロンそよかぜ	和泉 48	
D	健康ケア教室リハビリ デイサービス nagami	江場	
E	いきいきラジオ体操	小貝須第一公園	
	小貝須柳原 いきいき café	小貝須柳原3丁目集会所	
	小貝須柳原 いきいきREC		
F	リフレッシュ体操の会	つながりセンター (旧城南まちづくり 拠点施設)	
	つながりサロン		
G	小貝須浜ふれあい サロン	小貝須浜集会所	
H	かいすコーヒー	大貝須	
I	立田町サロン	立田町集会所	
J	太平町サロン	太平町集会所	

## IV 「北部」日常生活圏域

### ■ 地域特性

- ①大山田地区は高齢化率が最も低く、地域活動への参加意向が最も高くなっています。
- ②深谷地区は高齢化率が市内で最も高く、地域活動への参加意向があまり高くありません。そのため、「閉じこもりリスク」「社会的役割低下者」が市内で最も高くなっています。

■北部圏域内小学校区の位置図



No.	地区名	小学校名
①	深谷地区	深谷小学校
②	大和地区	大和小学校
③	大山田地区	大山田東小学校、大山田西小学校、 大山田南小学校、大山田北小学校、 藤が丘小学校、星見が丘小学校

## ■ 地区分析の結果

- ①「北部」日常生活圏域は、深谷地区・大和地区・大山田地区の3地区で構成されています。人口は42,047人、そのうち65歳以上の高齢者は8,752人となり、高齢化率は20.8%で市平均より0.5ポイント低い圏域です。
- ②本調査結果から判定された高齢者像をみると、「元気高齢者」(5.5%)、「一般高齢者」(27.7%)の割合は市平均より高く、「介護予防事業対象者」(59.7%)、「生活支援事業対象者」(42.2%)、「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」(15.8%)は市平均より低くなっています。
- ③リスク指標でみると、「物忘れリスク」が4割台、「うつリスク」が3割台となっていますが、該当割合は6リスクすべてで市平均より低くなっています。

指標等項目	数値	市全体	
		格差指数	順位
1 基礎データ			
人口	42,047人	—	1/6位
高齢者数	8,752人	—	1/6位
高齢化率	20.8%	-5.0	6/6位
2 高齢者像構成(割合)			
元気高齢者	5.5%	0.8	1
一般高齢者	27.7%	1.0	2
介護予防事業対象者	59.7%	-0.4	5
生活支援事業対象者	42.2%	-1.6	5
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	15.8%	-3.0	6
3 リスク指標の状況(割合)			
運動器機能低下リスク者	11.7%	-3.5	6
低栄養リスク者	1.4%	-0.1	3
口腔機能低下リスク者	17.6%	-1.1	5
閉じこもりリスク者	14.8%	-2.2	6
物忘れリスク者	41.3%	-0.7	4
うつリスク者	36.8%	-0.9	5
4 老研式活動能力指標の状況(割合)			
IADL低下者	6.9%	-1.7	6
社会的役割低下者	13.4%	-3.0	6
知的能動性低下者	31.3%	-1.2	5

(1) 地域カルテ「深谷地区」

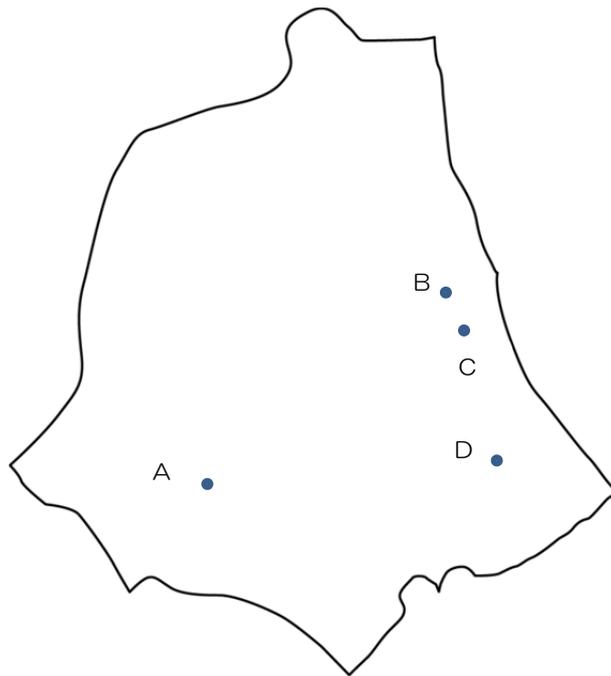
■ 地域課題

- ①人口は4,438人、そのうち65歳以上の高齢者は1,620人となり、高齢化率は36.5%で市平均より10.7ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は68.2%、「生活支援事業対象者」は48.5%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が50.5%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「ボランティアのグループ」に参加している方の割合が市内で1番目に低い地区です。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方・幸福感がある方の割合がともに市内で1番目に低い地区です。

「深谷地区」:深谷小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	4,438人	—	1/3位	—	13/19位
高齢者数	1,620人	—	2/3位	—	10/19位
高齢化率	36.5%	15.7	1/3位	10.7	1/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	3.0%	-2.5	3	-1.7	18
一般高齢者	20.2%	-7.5	3	-6.4	18
介護予防事業対象者	68.2%	8.6	1	8.1	1
生活支援事業対象者	48.5%	6.3	1	4.8	4
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	22.9%	7.1	1	4.1	2
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	18.5%	6.8	1	3.3	6
低栄養リスク者	2.2%	0.9	1	0.8	3
口腔機能低下リスク者	23.9%	6.3	1	5.1	2
閉じこもりリスク者	27.6%	12.8	1	10.6	1
物忘れリスク者	50.5%	9.2	1	8.5	2
うつリスク者	41.1%	4.3	1	3.5	4
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	10.1%	3.2	2	1.5	6
社会的役割低下者	23.9%	10.5	1	7.6	1
知的能動性低下者	35.5%	4.2	1	3.1	4

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	3.0%	-3.5	3	-3.7	19
スポーツの会	8.9%	-15.3	3	-9.3	18
趣味の会	17.5%	-8.8	3	-5.0	17
学習・教養サークル	4.9%	-3.9	3	-2.7	18
老人クラブ	3.9%	1.4	1	0.2	5
特技や経験を他者に伝える活動	2.7%	-1.2	3	-1.0	16
地域活動への参加意向	50.2%	-10.6	3	-6.4	17
地域活動(企画・運営)への参加意向	30.3%	-4.8	2	-3.0	16
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	72.7%	-8.0	3	-5.6	19
幸福感がある者の割合	35.7%	-6.8	3	-7.0	19
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	36.7%	3.4	2	0.4	10
「場づくり」ができていると思う割合	33.7%	0.3	2	-3.2	14

■深谷地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	ふれ愛ふかや	深江会館(神社)	通いの場
B	各種サークル	北部老人福祉センター	カラオケ、絵手紙、グランドゴルフ、手芸、パソコン、書道
	講座		茶道華道、太極拳、パソコン、書道
C	健康ケア教室		
D	サロンひまわり	桜木町集会所	通いの場

## (2) 地域カルテ「大和地区」

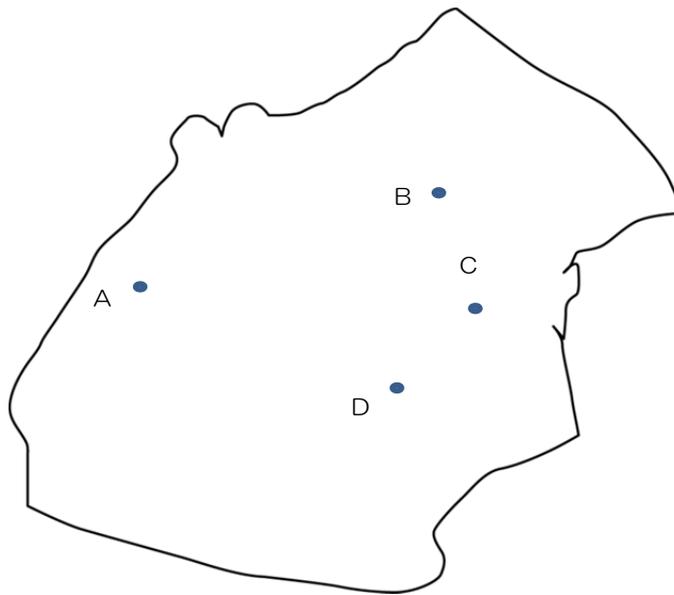
## ■ 地域課題

- ①人口は2,859人、そのうち65歳以上の高齢者は924人となり、高齢化率は32.3%で市平均より6.5ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は54.8%、「生活支援事業対象者」は39.2%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が42.4%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「老人クラブ」に参加している方の割合が低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い・幸福感がある方の割合がともに市平均より高くなっています。

「大和地区」:大和小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	2,859人	—	3/3位	—	17/19位
高齢者数	924人	—	3/3位	—	18/19位
高齢化率	32.3%	11.5	2/3位	6.5	6/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	5.2%	-0.3	2	0.6	5
一般高齢者	30.4%	2.7	1	3.8	2
介護予防事業対象者	54.8%	-4.9	3	-5.3	19
生活支援事業対象者	39.2%	-3.0	3	-4.5	18
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	17.2%	1.4	2	-1.6	17
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	14.4%	2.7	2	-0.8	17
低栄養リスク者	2.0%	0.6	2	0.6	7
口腔機能低下リスク者	17.2%	-0.4	2	-1.5	15
閉じこもりリスク者	16.4%	1.6	2	-0.6	14
物忘れリスク者	42.4%	1.1	2	0.4	9
うつリスク者	36.8%	0.0	2	-0.9	13
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	11.2%	4.3	1	2.6	4
社会的役割低下者	16.4%	3.0	2	0.1	12
知的能動性低下者	31.2%	-0.1	2	-1.2	14

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	7.2%	0.8	1	0.6	7
スポーツの会	18.0%	-6.2	2	-0.1	7
趣味の会	20.8%	-5.5	2	-1.7	8
学習・教養サークル	9.2%	0.4	2	1.6	5
老人クラブ	2.4%	-0.1	2	-1.4	15
特技や経験を他者に伝える活動	4.4%	0.5	1	0.7	4
地域活動への参加意向	56.0%	-4.9	2	-0.7	9
地域活動(企画・運営)への参加意向	28.0%	-7.1	3	-5.3	18
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	80.4%	-0.2	2	2.1	4
幸福感がある者の割合	45.2%	2.7	1	2.5	5
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	37.6%	4.3	1	1.3	7
「場づくり」ができていると思う割合	40.4%	7.0	1	3.4	6

■大和地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	お年寄りのつどい	蛸塚会館	移動宅老所
B	東汰上元気の会	東汰上神明社	桑名いきいき体操
C	ふるさとの里	ふるさとの里	健康ケア教室
D	竹の和		宅老所

(3) 地域カルテ「大山田地区」

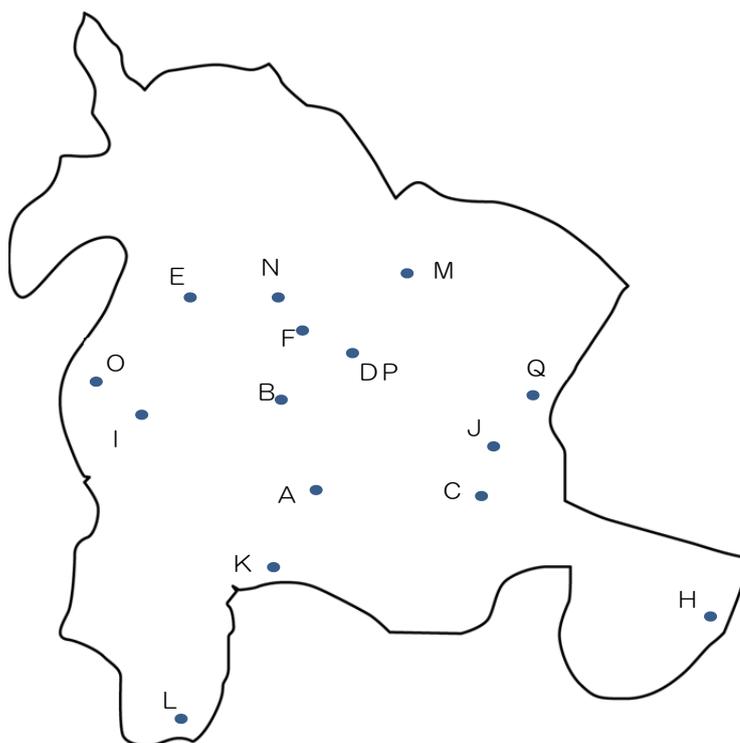
■ 地域課題

- ①人口は 34,750 人、そのうち 65 歳以上の高齢者は 6,208 人となり、高齢化率は 17.9%で市平均より 7.9<sup>ポイント</sup>低い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は 58.3%、「生活支援事業対象者」は 41.1% となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が 38.9%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「スポーツの会」「趣味の会」に参加している方の割合が市内で最も高い地区です。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良いの割合が市内で2番目に高い地区です。

「大山田地区」:大山田東、大山田西、大山田南、大山田北 藤が丘、星見が丘小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	34,750 人	—	3/3 位	—	1/19 位
高齢者数	6,208 人	—	1/3 位	—	1/19 位
高齢化率	17.9%	-2.9	3/3 位	-7.9	19/19 位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	6.1%	0.6	1	1.5	3
一般高齢者	29.1%	1.4	2	2.4	5
介護予防事業対象者	58.3%	-1.3	2	-1.8	13
生活支援事業対象者	41.1%	-1.1	2	-2.6	17
認知機能レベル I・II 該当者	13.9%	-1.9	3	-4.9	19
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	9.6%	-2.0	3	-5.5	19
低栄養リスク者	1.1%	-0.3	3	-0.4	14
口腔機能低下リスク者	16.2%	-1.4	3	-2.6	17
閉じこもりリスク者	11.5%	-3.3	3	-5.5	19
物忘れリスク者	38.9%	-2.4	3	-3.1	16
うつリスク者	35.8%	-1.0	3	-1.9	16
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	5.5%	-1.4	3	-3.1	18
社会的役割低下者	10.4%	-3.0	3	-5.9	19
知的能動性低下者	30.3%	-1.0	3	-2.2	16

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	7.2%	0.7	2	0.6	9
スポーツの会	28.8%	4.6	1	10.7	1
趣味の会	29.1%	2.9	1	6.6	1
学習・教養サークル	9.7%	0.9	1	2.1	2
老人クラブ	2.2%	-0.3	3	-1.6	17
特技や経験を他者に伝える活動	4.2%	0.2	2	0.4	5
地域活動への参加意向	64.1%	3.2	1	7.4	1
地域活動(企画・運営)への参加意向	37.3%	2.2	1	4.0	1
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	82.5%	1.9	1	4.3	2
幸福感がある者の割合	43.8%	1.2	2	1.1	7
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	31.9%	-1.4	3	-4.4	17
「場づくり」ができていると思う割合	32.3%	-1.1	3	-4.6	15

■大山田地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	松ノ木ふれあいサロン	大山田南学童保育所	茶話会
B	いきいき体操グループ	大山田第三広場	桑名いきいき体操
C	ふじの会	藤が丘デザイン公園 管理棟	茶話会、介護予防講座等
D	宅老所 筒の和	大山田東小敷地内	レク、作品作り、カラオケ、囲碁、音楽、介護 予防講座等

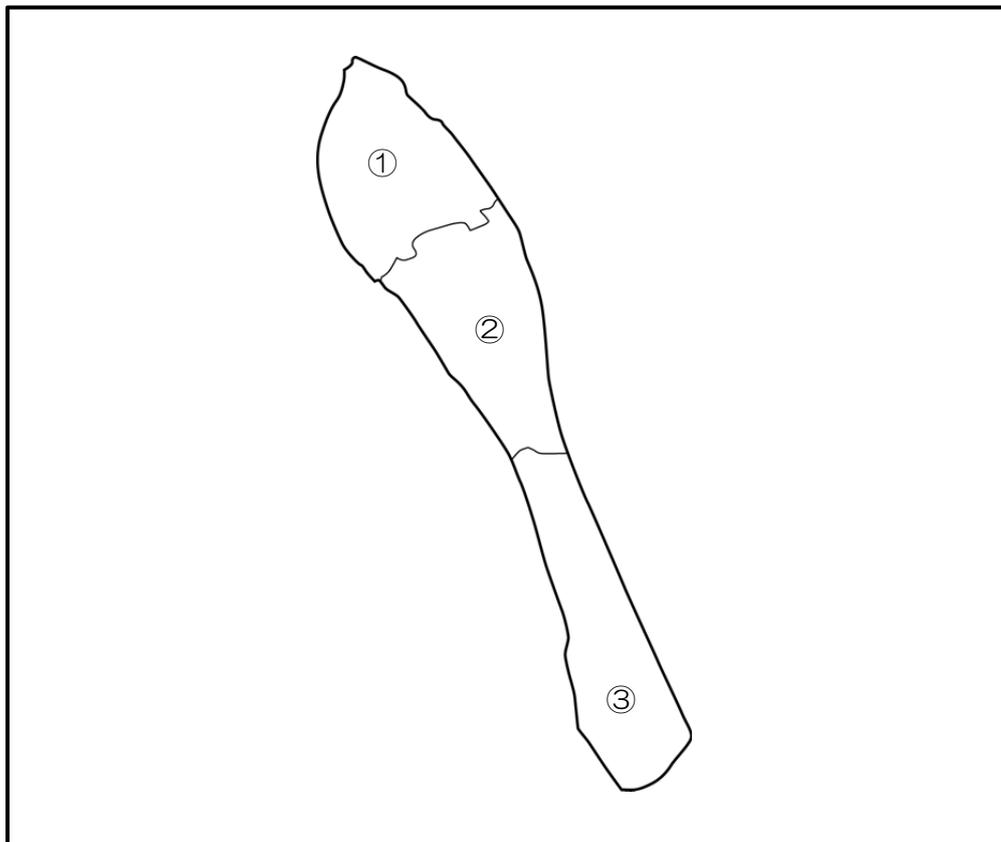
E	シルバーサロン 元気の宿	大山田北小敷地内	レク、音楽療法、カラオケ、朗読会、体操、介護予防講座等
F	わくわくフレンズ 憩いのひろば	大山田 2 丁目内民家	茶話会、健康・食・介護等の学習・調理等。 その他子ども食堂を第二、四木曜実施
G	にこにこ健康太極拳	ぼかぼか	太極拳 講習会
H	CT会	新西方コミュニティ	茶話会
	いきいき体操会		太極拳
	歴史探訪		歴史勉強、外出
	新西方囲碁・将棋		囲碁 将棋
	新西方麻雀		麻雀
I	笑和の会	野田 2 丁目 7 番集会所	茶話会、脳トレ、介護予防等のお話
J	ももふれあい保健室 (健康・ケア教室)	ナーシングホームもも	健康相談
K	長寿苑カフェ (健康・ケア教室)	長寿苑	健康体操、レク、介護相談、昼食 ※昼食は希望者のみ、数量限定要予約、送迎要相談
L	健康・ケア教室	リハビリデイサービス よなは second	健康相談、運動、介護予防講座等
M	虹の会 (健康・ケア教室)	ケアステーション 陽だまり	音楽に合わせた健康体操、昼食、会話交流会等 ※送迎要相談
	やまばとの会 (健康ケア・教室)		認知症予防(歌、紙芝居、手遊び等) ※送迎要相談
	フラワー会 (健康ケア・教室)		①外食ツアー②茶話会 ※②のみの参加可能、送迎要相談
N	健康・ケア教室	ガーデン 大山田	体操、作品作り、歌、茶話会等
O	健康・ケア ラボ (健康・ケア教室)	デイサービスぬくもりラボ	茶話会、運動、健康相談(マッサージ)等 ※定員あり、事前申し込み必要、送迎あり
P	筒尾地区健康体操会	大山田 第四公園	桑名いきいき体操、その他体操
Q	焼尾公園体操会	焼尾公園	桑名いきいき体操

## V 「長島」日常生活圏域

### ■ 地域特性

- ①島のため、生活圏域としては桑名市内・愛知県両方が想定されます。外出する際の移動手段である路線バス・Kバスの利用が他に比べると少なくなっています。
- ②新たに住宅開発がされることが無いため、人口があまり増加せず、地域のつながりが比較的強くなっています。しかし同時に、高齢化率も高くなっています。
- ③3地区のうち高齢化率が最も低い伊曾島地区では、地域活動（企画・運営）への参加意向と幸福感があるものの割合が市内で最も低くなっています。

■長島圏域内小学校区の位置図



No.	地区名	小学校名
①	長島北部地区	長島北部小学校
②	長島中部地区	長島中部小学校
③	伊曾島地区	伊曾島小学校

■ 地区分析の結果

- ①「長島」日常生活圏域は、長島中部地区・長島北部地区・伊曾島地区の3地区で構成されています。人口は14,952人、そのうち65歳以上の高齢者は4,314人となり、高齢化率は28.9%で市平均より3.1ポイント高い圏域です。
- ②本調査結果から判定された高齢者像をみると、「一般高齢者」(24.6%)、「生活支援事業対象者」(41.0%)の割合は市平均より低く、「元気高齢者」(5.1%)、「介護予防事業対象者」(60.9%)、「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」(19.2%)は市平均より高くなっています。
- ③リスク指標でみると、「物忘れリスク」が4割台、「うつリスク」が3割台となっており、「運動器機能低下リスク」「閉じこもりリスク」「うつリスク」が市平均より高くなっています。

指標等項目	数値	市全体	
		格差指数	順位
1 基礎データ			
人口	14,952人	—	5/6位
高齢者数	4,314人	—	5/6位
高齢化率	28.9%	3.1	1/6位
2 高齢者像構成(割合)			
元気高齢者	5.1%	0.5	3
一般高齢者	24.6%	-2.0	5
介護予防事業対象者	60.9%	0.8	3
生活支援事業対象者	41.0%	-2.8	6
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.2%	0.4	4
3 リスク指標の状況(割合)			
運動器機能低下リスク者	15.7%	0.5	4
低栄養リスク者	1.2%	-0.3	5
口腔機能低下リスク者	16.9%	-1.8	6
閉じこもりリスク者	17.8%	0.8	2
物忘れリスク者	41.2%	-0.8	5
うつリスク者	38.4%	0.7	4
4 老研式活動能力指標の状況(割合)			
IADL低下者	9.3%	0.7	4
社会的役割低下者	18.9%	2.6	1
知的能動性低下者	32.0%	-0.4	3

## (1) 地域カルテ「長島北部地区」

## ■ 地域課題

- ①人口は2,812人、そのうち65歳以上の高齢者は985人となり、高齢化率は35.0%で市平均より9.2ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は57.7%、「生活支援事業対象者」は37.4%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が45.1%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より高くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「特技や経験を他社に伝える活動」に参加している方の割合が市内で1番低い地区です。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方の割合が市平均より低くなっています。

「長島北部地区」：長島北部小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	2,812人	—	1/3位	—	18/19位
高齢者数	985人	—	3/3位	—	17/19位
高齢化率	35.0%	6.1	1/3位	9.2	3/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	4.2%	-0.9	3	-0.4	9
一般高齢者	27.6%	3.0	1	1.0	8
介護予防事業対象者	57.7%	-3.2	3	-2.4	15
生活支援事業対象者	37.4%	-3.5	3	-6.3	19
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	21.7%	2.5	1	2.9	5
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	15.0%	-0.6	2	-0.1	12
低栄養リスク者	2.4%	1.3	1	1.0	2
口腔機能低下リスク者	17.8%	0.9	2	-0.9	14
閉じこもりリスク者	18.5%	0.8	2	1.5	8
物忘れリスク者	45.1%	3.9	1	3.1	6
うつリスク者	33.2%	-5.1	3	-4.4	18
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	10.5%	1.2	1	1.9	5
社会的役割低下者	19.6%	0.7	2	3.2	7
知的能動性低下者	32.9%	0.9	1	0.5	11

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	8.0%	0.2	2	1.4	3
スポーツの会	14.7%	0.5	2	-3.4	15
趣味の会	18.9%	0.4	2	-3.6	14
学習・教養サークル	7.7%	1.6	1	0.1	8
老人クラブ	7.7%	2.8	1	3.9	2
特技や経験を他者に伝える活動	2.1%	-0.8	3	-1.6	19
地域活動への参加意向	54.9%	-0.7	2	-1.8	12
地域活動(企画・運営)への参加意向	33.2%	0.0	2	-0.1	9
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	78.0%	0.8	1	-0.3	8
幸福感がある者の割合	44.1%	2.1	1	1.3	6
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	37.1%	-4.1	2	0.8	8
「場づくり」ができていると思う割合	44.8%	-0.6	2	7.8	2

■長島北部地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	新所まめじゃ会	新所集会所	
B	新所集いの場		
C	千倉びんぴんころりクラブ	千倉集会所	桑名いきいき体操
D	高座・中川・西川まめじゃ会	長島公民館北部分館	
E	小島まめじゃ会	小島集会所	
F	大倉まめじゃ会	大蔵集会所	

## (2) 地域カルテ「長島中部地区」

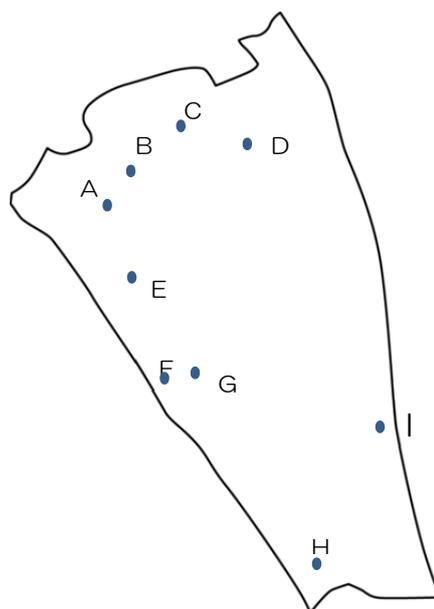
## ■ 地域課題

- ①人口は8,315人、そのうち65歳以上の高齢者は2,291人となり、高齢化率は27.6%で市平均より1.8ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は61.0%、「生活支援事業対象者」は41.9%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が39.9%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「学習・教養サークル」に参加している方の割合が市内で3番目に低い地区です。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感が良い方の割合が市平均より低くなっています。

「長島中部地区」：長島中部小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	8,315人	—	1/3位	—	5/19位
高齢者数	2,291人	—	1/3位	—	5/19位
高齢化率	27.6%	-1.3	2/3位	1.8	11/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	4.7%	-0.4	2	0.1	7
一般高齢者	25.4%	0.7	2	-1.3	12
介護予防事業対象者	61.0%	0.1	2	0.9	8
生活支援事業対象者	41.9%	1.0	2	-1.8	14
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	17.9%	-1.3	3	-0.9	15
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	15.0%	-0.7	3	-0.2	13
低栄養リスク者	0.7%	-0.4	3	-0.7	19
口腔機能低下リスク者	15.4%	-1.5	3	-3.3	19
閉じこもりリスク者	16.0%	-1.8	3	-1.0	15
物忘れリスク者	39.9%	-1.3	3	-2.1	15
うつリスク者	39.4%	1.1	2	1.8	9
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	8.8%	-0.5	3	0.2	14
社会的役割低下者	17.3%	-1.6	3	1.0	9
知的能動性低下者	32.0%	0.0	2	-0.4	12

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	8.1%	0.2	1	1.5	2
スポーツの会	15.4%	1.2	1	-2.7	14
趣味の会	19.5%	1.0	1	-3.0	12
学習・教養サークル	5.4%	-0.7	3	-2.2	17
老人クラブ	4.4%	-0.5	2	0.6	4
特技や経験を他者に伝える活動	3.1%	0.1	2	-0.6	14
地域活動への参加意向	57.9%	2.3	1	1.2	3
地域活動(企画・運営)への参加意向	33.9%	0.6	1	0.6	5
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	77.6%	0.3	2	-0.7	7
幸福感がある者の割合	42.8%	0.9	2	0.1	7
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	44.3%	3.2	1	8.0	7
「場づくり」ができていると思う割合	48.5%	3.1	1	11.6	7

■長島中部地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	北島まめじゃ会	北島集会所	
B	平方まめじゃ会	源盛寺	
C	出口まめじゃ会	防災コミュニティセンター	
D	かおるヶ丘まめじゃ会	かおるヶ丘集会所	
E	中筋まめじゃ会	光岳寺	
F	十日外面まめじゃ会	十日外面集会所	
G	健康ケア教室	長島福祉健康センター	
H	大島まめじゃ会	大島集会所	
I	姫御前団地まめじゃ会	姫御前団地集会所	

## (3) 地域カルテ「伊曾島地区」

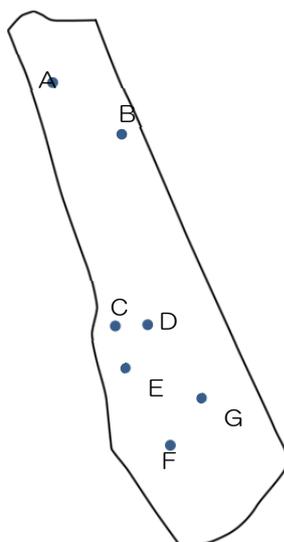
## ■ 地域課題

- ①人口は3,825人、そのうち65歳以上の高齢者は1,038人となり、高齢化率は27.1%で市平均より1.3ポイント高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は64.6%、「生活支援事業対象者」は42.5%となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が40.3%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「趣味の会」の活動をしている方の割合が市内で1番低い地区です。
- ⑤健康行動指標でみると、幸福感のある方の割合が市内で2番目に低い地区です。

「伊曾島地区」:伊曾島小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	3,825人	—	3/3位	—	15/19位
高齢者数	1,038人	—	2/3位	—	16/19位
高齢化率	27.1%	-1.8	3/3位	1.3	13/19位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	7.5%	2.4	1	2.9	1
一般高齢者	18.6%	-6.0	3	-8.1	19
介護予防事業対象者	64.6%	3.7	1	4.5	2
生活支援事業対象者	42.5%	1.5	1	-1.3	13
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	19.9%	0.7	2	1.1	8
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	18.6%	2.9	1	3.4	5
低栄養リスク者	0.9%	-0.3	2	-0.6	17
口腔機能低下リスク者	20.4%	3.4	1	1.6	7
閉じこもりリスク者	22.1%	4.4	1	5.1	2
物忘れリスク者	40.3%	-0.9	2	-1.7	14
うつリスク者	41.6%	3.2	1	3.9	3
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	9.3%	0.0	2	0.7	11
社会的役割低下者	23.0%	4.1	1	6.7	2
知的能動性低下者	31.0%	-1.0	3	-1.4	15

5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者					
ボランティアのグループ	7.1%	-0.8	3	0.5	10
スポーツの会	9.7%	-4.4	3	-8.4	17
趣味の会	15.0%	-3.5	3	-7.5	19
学習・教養サークル	6.2%	0.1	2	-1.4	13
老人クラブ	2.7%	-2.2%	3	-1.1	13
特技や経験を他者に伝える活動	3.5%	0.6%	1	-0.2	9
地域活動への参加意向	49.6%	-6.1%	3	-7.1	18
地域活動(企画・運営)への参加意向	31.4%	-1.8%	3	-1.9	13
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	75.2%	-2.0%	3	-3.1	16
幸福感がある者の割合	36.7%	-5.2%	3	-6.0	18
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	36.7%	-4.4%	3	0.4	9
「場づくり」ができていると思う割合	36.7%	-8.7%	3	-0.2	11

■伊曾島地区 通いの場



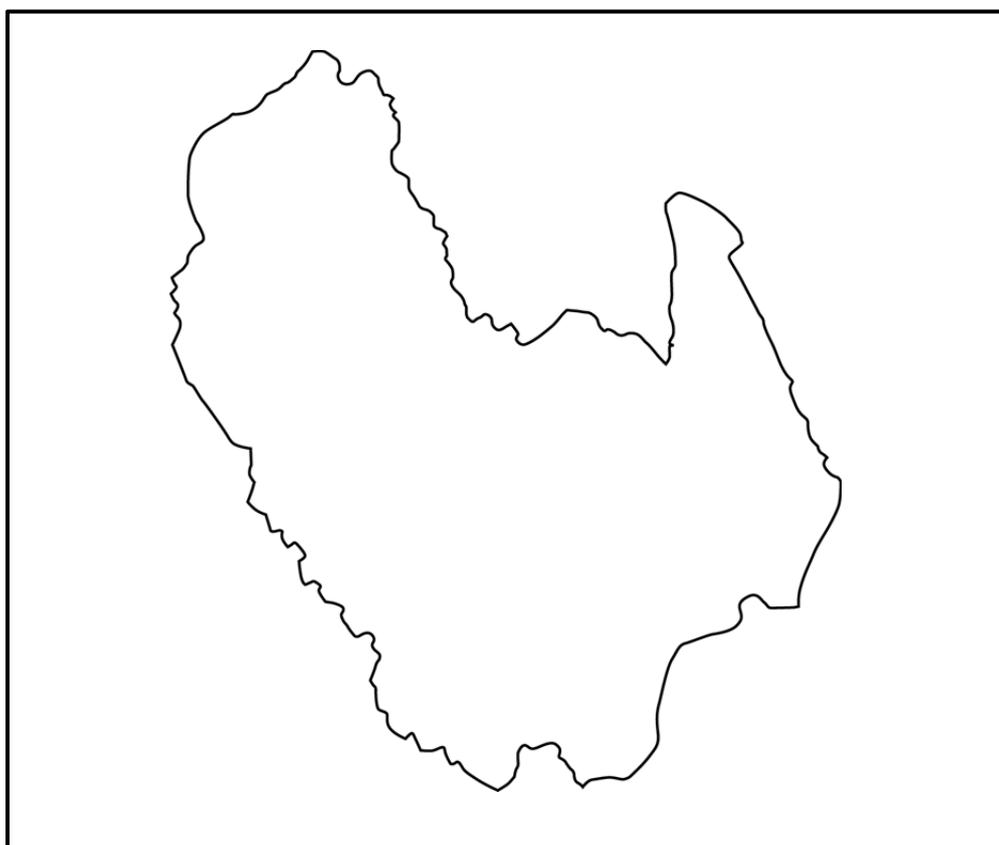
	名称	場所	内容
A	葎ヶ須・赤地・鎌ヶ地まめじゃ会	葎ヶ須集会所	
B	ユニータウンまめじゃ会	ユニータウン集会所	
C	フェニックスまめじゃ会	フェニックス集会所	つどいの場
	フェニックスげんきクラブ		
D	みらいケア(mirai care)	シニアプラザながしま	健康ケア教室
	小多機みらい集いの場		
E	いそじま朝市	伊曾島小学校隣	
F	松蔭まめじゃ会	松中集会所	
G	いそじま笑顔の集い	あおい・ひなた	健康ケア教室

## VI 「多度」日常生活圏域

### ■ 地域特性

- ①地域のつながりが比較的強いところです。
- ②住宅団地の開発が進み人口が増加していますが、圏域別では2番目に高齢化率が高くなっています。
- ③外出する際の移動手段である路線バス・Kバスの利用が他に比べると少なくなっており、閉じこもりリスク該当者が最も高くなっています。

### ■ 多度圏域内小学校区の位置図



No.	地区名	小学校名
①	多度地区	多度東小学校、多度北小学校、 多度中小学校、多度西小学校、 多度南小学校

■ 地区分析の結果

- ①「多度」日常生活圏域は、多度東小学校、多度北小学校、多度中小学校、多度西小学校、多度南小学校の5小学校区で1地区を構成しています。人口は11,012人、そのうち65歳以上の高齢者は3,150人となり、高齢化率は28.6%で市平均より2.8<sup>ポイント</sup>高い圏域です。
- ②本調査結果から判定された高齢者像をみると、「元気高齢者」(4.6%)、「一般高齢者」(23.5%)、「生活支援事業対象者」(42.6%)の割合は市平均より低く、「介護予防事業対象者」(63.4%)、「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」(22.2%)は市平均より高くなっています。
- ③リスク指標でみると、「物忘れリスク」が4割台、「うつリスク」が3割台、「閉じこもりリスク」が2割弱となっており、市平均より高くなっています。

指標等項目	数値	市全体	
		格差指数	順位
1 基礎データ			
人口	11,012人	—	6/6位
高齢者数	3,150人	—	6/6位
高齢化率	28.6%	2.8	2/6位
2 高齢者像構成(割合)			
元気高齢者	4.6%	-0.1	4
一般高齢者	23.5%	-3.1	6
介護予防事業対象者	63.4%	3.3	1
生活支援事業対象者	42.6%	-1.2	4
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	22.2%	3.5	1
3 リスク指標の状況(割合)			
運動器機能低下リスク者	15.9%	0.7	3
低栄養リスク者	1.1%	-0.4	6
口腔機能低下リスク者	18.1%	-0.6	3
閉じこもりリスク者	20.4%	3.3	1
物忘れリスク者	45.2%	3.2	2
うつリスク者	39.8%	2.1	2
4 老研式活動能力指標の状況(割合)			
IADL低下者	9.8%	1.2	2
社会的役割低下者	18.7%	2.4	2
知的能動性低下者	30.1%	-2.3	6

(1) 地域カルテ「多度地区」

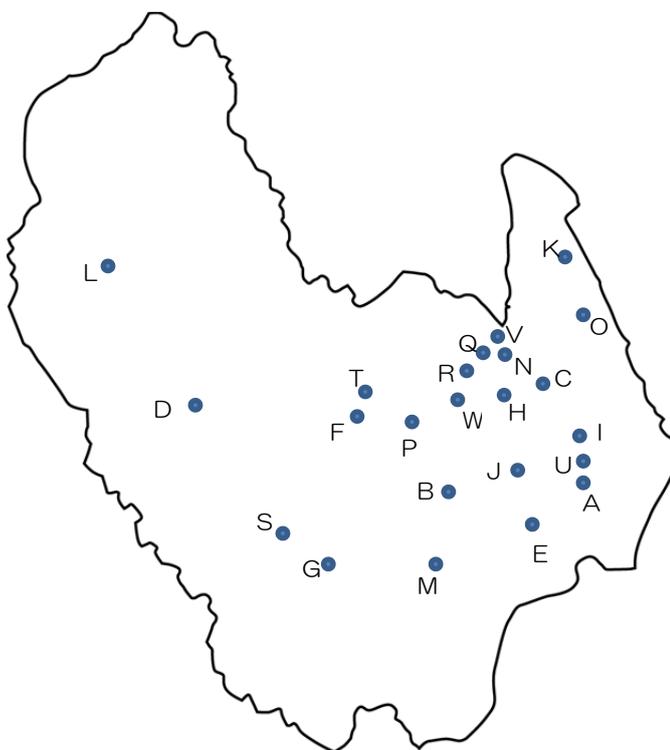
■ 地域課題

- ①人口は 11,012 人、そのうち 65 歳以上の高齢者は 3,150 人となり、高齢化率は 28.6%で市平均より 2.8<sup>ポイント</sup>高い地区です。
- ②高齢者像をみると、「介護予防事業対象者」は 63.4%、「生活支援事業対象者」は 42.6% となっています。
- ③リスク指標をみると、「物忘れリスク」が 45.2%と6リスク中最も高く、圏域平均・市平均より低くなっています。
- ④社会関係指標でみると、「スポーツの会」の活動をしている方の割合が市内で4番目に低くなっています。
- ⑤健康行動指標でみると、主観的健康感のある方・幸福感のある方の割合がともに市平均より低くなっています。

「多度地区」:多度東小学校、多度北小学校、 多度中小学校、多度西小学校、多度南小学校					
指標等項目	数値	日常生活圏域		市全体	
		格差指数	圏内順位	格差指数	順位
1 基礎データ					
人口	11,012 人	—	—	—	2/19 位
高齢者数	3,150 人	—	—	—	2/19 位
高齢化率	28.6%	—	—	2.8	10/19 位
2 高齢者像構成(割合)					
元気高齢者	4.6%	—	—	-0.1	8
一般高齢者	23.5%	—	—	-3.1	16
介護予防事業対象者	63.4%	—	—	3.3	4
生活支援事業対象者	42.6%	—	—	-1.2	12
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	22.2%	—	—	3.5	4
3 リスク指標の状況(割合)					
運動器機能低下リスク者	15.9%	—	—	0.7	9
低栄養リスク者	1.1%	—	—	-0.4	13
口腔機能低下リスク者	18.1%	—	—	-0.6	13
閉じこもりリスク者	26.5%	—	—	9.5	3
物忘れリスク者	45.2%	—	—	3.2	5
うつリスク者	39.8%	—	—	2.1	7
4 老研式活動能力指標の状況(割合)					
IADL低下者	9.8%	—	—	1.2	8
社会的役割低下者	18.7%	—	—	2.4	8
知的能動性低下者	30.1%	—	—	-2.3	17
5 社会関係指標の状況(割合)					
会やグループへの参加者		—	—		
ボランティアのグループ	7.3%	—	—	0.7	5

スポーツの会	12.4%	—	—	-5.8	16
趣味の会	19.2%	—	—	-3.3	13
学習・教養サークル	6.2%	—	—	-1.4	11
老人クラブ	9.4%	—	—	5.6	1
特技や経験を他者に伝える活動	2.8%	—	—	-0.9	15
地域活動への参加意向	55.1%	—	—	-1.6	11
地域活動(企画・運営)への参加意向	33.3%	—	—	0.0	8
6 健康行動指標の状況(割合)					
主観的健康感が良い者の割合	76.2%	—	—	-2.0	12
幸福感がある者の割合	42.5%	—	—	-0.2	10
7 独自設問の状況					
「仕組みづくり」ができていると思う割合	36.6%	—	—	0.3	11
「場づくり」ができていると思う割合	44.0%	—	—	7.0	3

■多度地区 通いの場



	名称	場所	内容
A	大鳥居ふれあいサロン(オードリー夢)	集会所	レク、茶話会等
B	小山ふれあいサロン	集会所	レク、体操、料理、介護予防教室等
C	香取ふれあいサロン	集会所	レク、音楽療法、介護予防教室、昼食等
D	古野ふれあいサロン	集会所	①サロン(レク、介護予防教室等) ②グランドゴルフ
E	下野代ふれあいサロン(ハッピーのじり)	集会所	茶話会、地域住民との交流会等
F	多度ふれあいサロン	集会所	レク、体操、カラオケ、介護予防教室等
G	力尾ふれあいサロン(力尾サロン)	南部コミュニティセンター	レク、桑名いきいき体操、介護予防講座等
H	戸津ふれあいサロン	集会所	レク、音楽療法、介護予防講座、昼食等
I	中須ふれあいサロン(福寿会)	円寿寺	音楽、工作、園芸、子ども会との交流等
J	肱江ふれあいサロン(肱江老人クラブ会)	集会所	月1回サロン(レク、介護予防教室等) 月1回ウォーキング
K	平古ふれあいサロン(平福美)	願琳寺	レク、桑名いきいき体操等
L	美鹿ふれあいサロン	集会所	ヨガ、体操、工作、音楽療法、誕生会等
M	御衣野ふれあいサロン	集会所	体操、介護予防講座等
N	柚井ふれあいサロン	集会所	レク、体操、ゲーム、介護予防教室等
O	上之郷サクラ会	上之郷集会所	レク、作品作り、体操等
P	ほっと安心カフェ(健康・ケア教室)	多度すこやかセンター	①笑いヨガ ②練功 ③料理教室等のイベント ※月2回昼食あり、要事前予約・料金必要
	いいとも会		レク、カラオケ、料理、講演会、健康講座等
	むつみの会		室内コンサート、お出かけ等 (多度地区民生委員主催)
	楽習		脳トレ ※5月～8月 11月～2月
Q	体操	JA みえきた多度支店	体操 ※初回のみ 500円
R	ジュネス体操クラブ	桑名市多度体育センター	体操(柔軟体操、リズム体操、ボール体操)
S	いこに会	浄教寺	茶話会、講演会、健康講座等
T	花遊舎歌の集い	カフェレストラン花遊舎	コーヒー・ケーキと一緒に音楽のイベント
U	健康ふれあいサロン	マミーハウス	認知症予防体操、歌、手遊び、茶話会、認知症相談等
V	だいそうDEたいそう	大桑病院	座ってできる体操、茶話会、介護や健康相談
W	伊藤整骨院健康ケア教室	伊藤整骨院香取44	体操・ストレッチ

第5章 地区別における調査結果.....	111
I 「東部」日常生活圏域.....	112
(1) 地域カルテ「精義地区」.....	114
(2) 地域カルテ「立教地区」.....	116
(3) 地域カルテ「城東地区」.....	118
(4) 地域カルテ「修徳地区」.....	120
(5) 地域カルテ「大成地区」.....	122
II 「西部」日常生活圏域.....	124
(1) 地域カルテ「桑部地区」.....	126
(2) 地域カルテ「在良地区」.....	128
(3) 地域カルテ「七和地区」.....	130
(4) 地域カルテ「久米地区」.....	132
III 「南部」日常生活圏域.....	134
(1) 地域カルテ「日進地区」.....	136
(2) 地域カルテ「益世地区」.....	138
(3) 地域カルテ「城南地区」.....	140
IV 「北部」日常生活圏域.....	142
(1) 地域カルテ「深谷地区」.....	144
(2) 地域カルテ「大和地区」.....	146
(3) 地域カルテ「大山田地区」.....	148
V 「長島」日常生活圏域.....	151
(1) 地域カルテ「長島北部地区」.....	153
(2) 地域カルテ「長島中部地区」.....	155
(3) 地域カルテ「伊曾島地区」.....	157
VI 「多度」日常生活圏域.....	159
(1) 地域カルテ「多度地区」.....	161